

平成 26 年度石綿の健康リスク調査の結果について

平成 28 年 3 月

石綿の健康影響に関する検討会

平成２７年度 石綿の健康影響に関する検討会名簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	所 属
秋元 政博	横浜市健康福祉局担当部長
○ 内山 巖雄	国立大学法人京都大学名誉教授
沖 勉	北九州市保健福祉局参与
神山 宣彦	東洋大学大学院経済学研究科客員教授
酒井 文和	埼玉医科大学国際医療センター放射線科教授
篠原 久子	鳥栖市健康福祉みらい部長
島 正之	兵庫医科大学公衆衛生学主任教授
清水 昌好	尼崎市医務監
祖父江 友孝	大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学講座 環境医学教授
中野 孝司	兵庫医科大学呼吸器内科主任教授
平野 靖史郎	独立行政法人国立環境研究所環境リスク研究センター 健康リスク研究室長
廣田 理	西宮市保健所参事
古川 裕之	羽島市福祉部長
前野 孝久	奈良県医療政策部保健予防課長
三浦 溥太郎	横須賀市立うわまち病院副院長
三井 幸裕	芦屋市こども・健康部長
諸富 伸夫	大阪府健康医療部保健医療室健康づくり課長

○は座長

目 次

1. はじめに	1
2. 調査方法の概要	1
(1) 調査対象地域	1
(2) 調査対象期間	1
(3) 調査対象者	1
3. 調査方法	2
(1) 問診	2
(2) 胸部X線検査・胸部C T検査	3
(3) 読影	3
(4) 検査結果	3
(5) 調査対象者の次年度における検査の考え方	4
4. 平成26年度受診者の概要	5
(1) 受診状況	5
(2) ばく露歴と医学的所見	5
(3) 平成22～25年度受診者のうち、 医療の必要があると判断された者の経過把握結果について	10
(4) 平成22～25年度受診者のうち、 平成26年度に受診しなかった者のアンケート結果	11
5. 新規受診者の概要	12
(1) 調査対象者	12
(2) 医学的所見	13
6. 継続受診者の概要	14
(1) 調査対象者	14
(2) 医学的所見の経年変化	15
7. 第2期調査（5年間）のまとめ	20
(1) 受診状況	20
(2) 医学的所見	21
(3) 医学的所見の変化（改善・変化なし・悪化）	22
(4) 石綿関連疾患の診断状況	23
(5) 受診者アンケート	24
8. 平成26年度の7地域合計の調査結果のまとめ	27
(1) 受診状況について	27
(2) ばく露歴と医学的所見について	27

大阪府・尼崎市・鳥栖市・横浜市・羽島市・奈良県・北九州市における第2期石綿の健康リスク調査報告の概要

1. はじめに

平成 17 年 6 月に、石綿取扱い施設周辺の一般住民が石綿を原因とする健康被害を受けているとの報道があり、一般環境（ここでは、一般大気を言う。）を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性が指摘された。環境省においては、これを受けて石綿のばく露歴や石綿関連疾患の健康リスクに関する実態把握を行うこととなった。

平成 18 年度においては、一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性があり、調査への協力が得られた大阪府、尼崎市、鳥栖市の 3 地域において、石綿取扱い施設の周辺住民に対して、問診、胸部 X 線検査、胸部 CT 検査等を実施することにより、石綿ばく露の医学的所見である胸膜プラーク等の所見の有無と健康影響との関係に関する知見を収集した。平成 19 年度においては、横浜市、羽島市、奈良県が調査実施団体として加わり、平成 21 年度においては、北九州市がさらに調査に加わった。

平成 22 年度からは第 2 期石綿の健康リスク調査を開始したところである。本調査は、対象者数を大幅に増加させるとともに、毎年検査（年 1 回）や健康状況の確認を一定の期間確実に行うこととし、従来からの解析に加え、石綿ばく露の違い等による石綿関連所見や石綿関連疾患の発生状況の比較等を行い、石綿ばく露者の中・長期的な健康管理の在り方を検討するための知見の収集を目的としている。このため、上記 7 地域で調査を実施し、今般、平成 26 年度における調査結果を以下のとおり取りまとめた。

2. 調査方法の概要

（1）調査対象地域

一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性がある大阪府泉南地域等、尼崎市、鳥栖市、横浜市鶴見区、羽島市、奈良県、北九州市門司区の 7 地域において調査を実施した。大阪府泉南地域等とは、泉南地域（岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町）及び大阪市¹、河内長野市の 10 市町である。

なお、本調査は、環境省環境保健部に設置された「疫学研究に関する審査検討会」の承認を得ている。

（2）調査対象期間

平成 22 年度～26 年度

（3）調査対象者

原則として、次の①～③を全て満たす者を調査対象者として自治体の広報等で募集し、希望者全員を対象とした。

①石綿取扱い施設の稼働時期に、調査対象地域に居住していた者

¹ 大阪市は平成 26 年度より参加

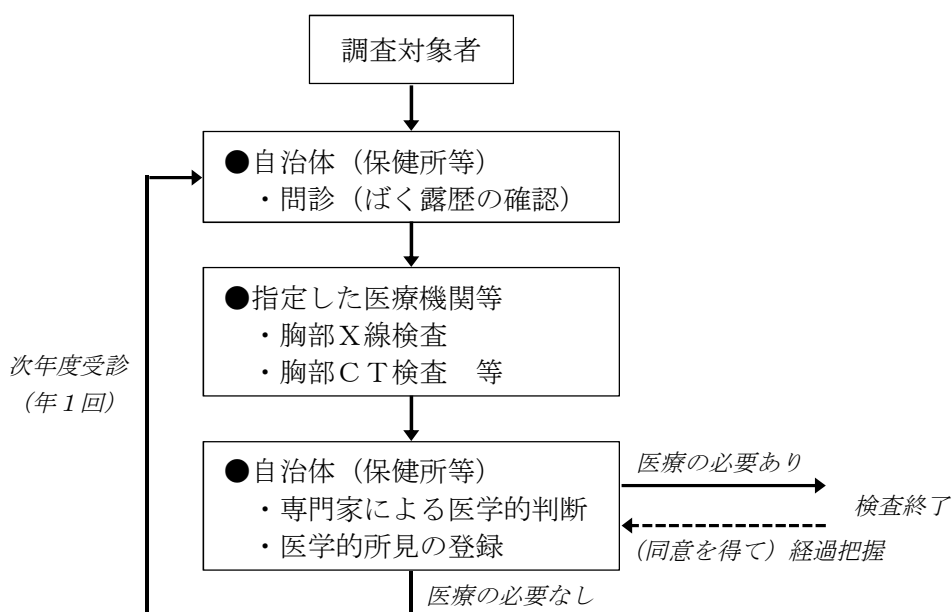
②調査対象地域自治体が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者

③本調査の主旨を理解し、調査の協力に同意する者（同意書に署名）

なお、これまで既に医療機関等で同様の検査を実施したことがある者についても、希望があれば調査対象者として受け入れている。その他、各自治体の事情により、上記①～③に該当しない者についても受け入れている地域もある。（巻末：表2参照）

ただし、労働安全衛生法の石綿健康管理手帳を取得している又は交付要件に該当している場合、石綿障害予防規則により職場等で石綿に関する特殊健康診断を受けることができる場合は調査の対象外としている。

<健康リスク調査の概要図>



3. 調査方法

（1）問診

調査の概要図を上図に示す。調査対象者に対して、保健所及び保健センター等において保健師等による詳細な問診を行い、呼吸器疾患等の既往歴、居住歴、通学歴、本人・家族の職歴を調査した。ただし、平成 22 年度以前に石綿の健康リスク調査に参加した者については過去の問診票を基に簡略化を行うことを可能とした。

問診の結果により、調査対象者のばく露歴を、次の5区分に分類した。

ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者（直接職歴）

イ. 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者（間接職歴）

ウ. 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者（家庭内ばく露）

エ. 職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者（立ち入り等）

オ. 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの（居住地や学校・職場等の周辺に

石綿取扱い施設がある場合も含む）（その他）

なお、ア～エの複数の該当する場合は、原則として、ア～エのうち、先に該当する区分に分類した。（例）アとウに該当した場合はアに分類する。

（２）胸部Ｘ線検査・胸部ＣＴ検査

調査対象者に対し、胸部Ｘ線検査及び胸部ＣＴ検査を実施した。検査を実施した施設は、保健所や指定医療機関、検診車等であり、各地域により異なる（巻末：表２参照）。また、最近、医療機関等で胸部ＣＴ検査を受診した者については、放射線被ばくのリスクを勘案して、本調査では胸部ＣＴ検査を実施せず、撮影した医療機関から画像のコピーを入手することも可能とした。

なお、平成 22 年度の石綿の健康リスク調査等で胸部ＣＴ検査を受診した者で、所見のない者については、胸部ＣＴ検査を省略することを可能とした。

（３）読影

胸部Ｘ線画像及び胸部ＣＴ画像について、専門の医師による読影を行い、石綿ばく露に関連する次の画像所見の有無について判定した。なお、読影にあたっては、別の専門家による二次読影も実施し、ダブルチェックを行った。

＜画像所見の分類＞

- ①胸水貯留が認められる者
 - ②胸膜プラーク（限局性の胸膜肥厚）が認められる者
 - ③びまん性胸膜肥厚が認められる者
 - ④胸膜腫瘍（中皮腫）疑いが認められる者
 - ⑤肺野の間質影が認められる者
 - ⑥円形無気肺が認められる者
 - ⑦肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）が認められる者
 - ⑧リンパ節の腫大が認められる者
 - ⑨その他の所見が認められる者（陳旧性結核病変など①～⑧以外の所見）
- ※③または⑤の所見が見られたものの、石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合は⑨としている。
- ※「疑い所見」とされた場合は所見番号の後ろに「疑」を記載している。

（４）検査結果

読影結果については、それぞれの健康管理に役立ててもらうため、受診した医療機関若しくは調査対象地域自治体から、調査対象者に以下のとおり通知した。

①精密検査又は医療の必要があるとされた者

認められた所見について説明し、すみやかに医療機関を受診し、医師の指示に従うよう指導した。

②所見を有しているが、医療の必要がないとされた者

認められた所見について説明し、直ちに医療機関を受診する必要はないが、経過観察を行うため、引き続き、当調査に参加し検査を受診するようお願いした。

③所見を有しない者

所見が認められないことを説明し、経過を確認するため、引き続き、当調査に参加し検査を受診するようお願いした。

(5) 調査対象者の次年度（平成 23～26 年度）における検査の考え方

調査対象者について、次年度に引き続き検査を行うかについては以下の 1)～3) の考え方に従うものとする。

- 1) 石綿健康被害救済法の指定疾病に罹患した者は、次年度の検査は行わないものとする。
- 2) 医療の必要があるとされた者は、次年度の検査を行わないものとするが、医療終了後に再度検査を行うことは妨げない。
- 3) 医療の必要がないと判断された者は、次年度も引き続き、検査を行うものとする。

なお、1)と判断された者については、調査対象者の同意を得た上で、医療機関へ照会を行い、できる限り治療経過等の把握に努めた。

4. 平成26年度受診者の概要

(1) 受診状況

2. (3) の条件を満たす等により、平成26年度の調査対象者数は7地域合計で3,134人であった。調査対象者のうち、平成22～25年度に検査を受診した者（継続受診者）は2,634人（調査対象者に対する割合84%）、平成22～25年度に検査を受診しなかった者（新規受診者）は500人（同16%）であった。

表4-1 調査対象者の属性

地域	調査対象者										
		継続受診者		新規受診者		現地域内在住者		男性		女性	
大阪府	479	341	71.2%	138	28.8%	466	97.3%	289	60.3%	190	39.7%
尼崎市	638	430	67.4%	208	32.6%	519	81.3%	348	54.5%	290	45.5%
鳥栖市	293	259	88.4%	34	11.6%	280	95.6%	177	60.4%	116	39.6%
横浜市	238	214	89.9%	24	10.1%	176	73.9%	131	55.0%	107	45.0%
羽島市	709	703	99.2%	6	0.8%	605	85.3%	303	42.7%	406	57.3%
奈良県	596	554	93.0%	42	7.0%	583	97.8%	332	55.7%	264	44.3%
北九州市	181	133	73.5%	48	26.5%	154	85.1%	86	47.5%	95	52.5%
計	3,134	2,634	84.0%	500	16.0%	2,783	88.8%	1,666	53.2%	1,468	46.8%

注：割合は調査対象者を分母として算出

(2) ばく露歴と医学的所見（巻末：表4-3～6参照）

各地域の調査対象者について、X線検査によって確認された石綿関連の医学的所見（疑いを含む。）とばく露歴の関係は以下のとおりである。なお、調査計画において、CT検査は新規受診者及び継続受診者で有所見者のみに実施することを基本としており、新規受診者と継続受診者で所見の分布状況が異なるため、CT所見については後章で別途整理することとした。

<大阪府泉南地域等>

調査対象者479人のうちX線検査を受診した者478人。うち所見が見られる者63人（「胸膜プラーク」53人、うち疑い1人）

ア. 主に直接職歴の者176人。うち所見が見られる者31人（「胸膜プラーク」26人）

イ. 主に間接職歴の者40人。うち所見が見られる者4人（「胸膜プラーク」2人、うち疑い1人）

ウ. 主に家庭内ばく露の者43人。うち所見が見られる者7人（「胸膜プラーク」7人）

エ. 主に立ち入り等の者51人。うち所見が見られる者6人（「胸膜プラーク」6人）

オ. 上記ばく露歴が確認できない者（その他）168人。うち所見が見られる者15人（「胸膜プラーク」12人）

所見が見られる者63人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」6人（うち疑い1人）、「胸膜プラーク」53人（うち疑い1人）、「びまん性胸膜肥厚」4人、「肺野の間質影」12人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者（「ア」～「エ」の合計）は310人で、

うち所見が見られる者 48 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」5 人（うち疑い 1 人）、「胸膜プラーク」41 人（うち疑い 1 人）、「びまん性胸膜肥厚」3 人、「肺野の間質影」10 人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者（「オ」）は 168 人で、うち所見が見られる者 15 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」1 人、「胸膜プラーク」12 人、「びまん性胸膜肥厚」1 人、「肺野の間質影」2 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1 人であった。

<尼崎市>

調査対象者 638 人のうち X 線検査を受診した者 638 人。うち所見が見られる者 72 人（「胸膜プラーク」57 人、うち疑い 8 人）

ア. 主に直接職歴の者 139 人。うち所見が見られる者 16（「胸膜プラーク」13 人、うち疑い 1 人）

イ. 主に間接職歴の者 59 人。うち所見が見られる者 15 人（「胸膜プラーク」8 人、うち疑い 2 人）

ウ. 主に家庭内ばく露の者 48 人。うち所見が見られる者 7 人（「胸膜プラーク」5 人、うち疑い 1 人）

エ. 主に立ち入り等の者 31 人。うち所見が見られる者 4 人（「胸膜プラーク」3 人）

オ. 上記ばく露歴が確認できない者（その他）361 人。うち所見が見られる者 30 人（「胸膜プラーク」28 人、うち疑い 4 人）

所見が見られる者 57 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」3 人、「胸膜プラーク」57 人（うち疑い 8 人）、「肺野の間質影」13 人（うち疑い 2 人）、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1 人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者（「ア」～「エ」の合計）は 277 人で、うち所見が見られる者 42 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」2 人、「胸膜プラーク」29 人（うち疑い 4 人）、「肺野の間質影」10 人（うち疑い 1 人）、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1 人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者（「オ」）は 361 人で、うち所見が見られる者 30 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」1 人、「胸膜プラーク」28 人（うち疑い 4 人）、「肺野の間質影」3 人（うち疑い 1 人）であった。

<鳥栖市>

調査対象者 293 人のうち X 線検査を受診した者 289 人。うち所見が見られる者 19 人（「胸膜プラーク」10 人）

ア. 主に直接職歴の者 78 人。うち所見が見られる者 10 人（「胸膜プラーク」7 人）

イ. 主に間接職歴の者 18 人。うち所見が見られる者 0 人（「胸膜プラーク」0 人）

ウ. 主に家庭内ばく露の者 50 人。うち所見が見られる者 3 人（「胸膜プラーク」2 人）

エ. 主に立ち入り等の者 43 人。うち所見が見られる者 1 人（「胸膜プラーク」0 人）

オ. 上記ばく露歴が確認できない者（その他）100 人。うち所見が見られる者 5 人（「胸膜プラーク」1 人）

所見が見られる者 19 人の内訳は、「胸水貯留」1 人、「胸膜プラーク」10 人、「肺野の間質影」7 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」3 人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者（「ア」～「エ」の合計）は 189 人で、うち所見が見られる者 14 人の内訳は、「胸水貯留」1 人、「胸膜プラーク」9 人、「肺野の間質影」4 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1 人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者（「オ」）は 100 人で、うち所見が見られる者は 5 人の内訳は、「胸膜プラーク」1 人、「肺野の間質影」3 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」2 人であった。

<横浜市鶴見区>

調査対象者 238 人のうち X 線検査を受診した者 238 人。うち所見が見られる者 29 人（「胸膜プラーク」27 人、うち疑い 4 人）

ア. 主に直接職歴の者 55 人。うち所見が見られる者 11 人（「胸膜プラーク」11 人、うち疑い 2 人）

イ. 主に間接職歴の者 20 人。うち所見が見られる者 3 人（「胸膜プラーク」3 人、うち疑い 1 人）

ウ. 主に家庭内ばく露の者 19 人。うち所見が見られる者 3 人（「胸膜プラーク」3 人）

エ. 主に立ち入り等の者 10 人。うち所見が見られる者 1 人（「胸膜プラーク」1 人）

オ. 上記ばく露歴が確認できない者（その他）134 人。うち所見が見られる者 11 人（「胸膜プラーク」9 人、うち疑い 1 人）

所見が見られる者 29 人の内訳（重複含む。）は、「胸膜プラーク」27 人（うち疑い 4 人）、「肺野の間質影」2 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1 人（うち疑い 1 人）であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者（「ア」～「エ」の合計）は 104 人で、うち所見が見られる者 18 人の内訳（重複含む。）は、「胸膜プラーク」18 人（うち疑い 3 人）、「肺野の間質影」1 人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者（「オ」）は 134 人で、うち所見が見られる者 11 人の内訳は、「胸膜プラーク」9 人（うち疑い 1 人）、「肺野の間質影」1 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」1 人（うち疑い 1 人）であった。

<羽島市>

調査対象者 709 人のうち X 線検査を受診した者 703 人。うち所見が見られる者 136 人（「胸膜プラーク」130 人、うち疑い 5 人）

ア. 主に直接職歴の者 60 人。うち所見が見られる者 24 人（「胸膜プラーク」23 人、うち疑い 1 人）

イ. 主に間接職歴の者 59 人。うち所見が見られる者 10 人（「胸膜プラーク」10 人）

ウ. 主に家庭内ばく露の者 95 人。うち所見が見られる者 27 人（「胸膜プラーク」26 人、うち疑い 1 人）

エ. 主に立ち入り等の者 46 人。うち所見が見られる者 12 人（「胸膜プラーク」12 人）

オ. 上記ばく露歴が確認できない者（その他）443 人。うち所見が見られる者 63 人（「胸膜

プラーク」59人、うち疑い3人)

所見が見られる者136人の内訳(重複含む。)は、「胸水貯留」3人、「胸膜プラーク」130人(うち疑い5人)、「肺野の間質影」4人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者(「ア」～「エ」の合計)は260人で、うち所見が見られる者73人の内訳(重複含む。)は、「胸膜プラーク」71人(うち疑い2人)、「肺野の間質影」2人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者(「オ」)は443人で、うち所見が見られる者63人の内訳(重複含む。)は、「胸水貯留」3人、「胸膜プラーク」59人(うち疑い3人)、「肺野の間質影」2人であった。

<奈良県>

調査対象者596人のうちX線検査を受診した者594人。うち所見が見られる者80人(「胸膜プラーク」68人、うち疑い13人)

ア. 主に直接職歴の者104人。うち所見が見られる者19人(「胸膜プラーク」15人、うち疑い3人)

イ. 主に間接職歴の者43人。うち所見が見られる者6人(「胸膜プラーク」6人、うち疑い1人)

ウ. 主に家庭内ばく露の者85人。うち所見が見られる者16人(「胸膜プラーク」16人、うち疑い4人)

エ. 主に立ち入り等の者51人。うち所見が見られる者7人(「胸膜プラーク」6人、うち疑い2人)

オ. 上記ばく露歴が確認できない者(その他)341人。うち所見が見られる者26人(「胸膜プラーク」22人、うち疑い3人)

所見が見られる者80人の内訳(重複含む。)は、「胸水貯留」5人(うち疑い3人)、「胸膜プラーク」68人(うち疑い13人)、「びまん性胸膜肥厚」3人(うち疑い2人)、「肺野の間質影」9人(うち疑い5人)、「肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)」4人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者(「ア」～「エ」の合計)287人で、うち所見が見られる者48人の内訳(重複含む。)は、「胸水貯留」3人(うち疑い1人)、「胸膜プラーク」43人(うち疑い10人)、「びまん性胸膜肥厚」1人、「肺野の間質影」3人(うち疑い2人)、「肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)」2人であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者(「オ」)は307人で、うち所見が見られる者32人の内訳(重複含む。)は、「胸水貯留」2人(うち疑い2人)、「胸膜プラーク」25人(うち疑い3人)、「びまん性胸膜肥厚」2人(うち疑い2人)、「肺野の間質影」6人(うち疑い3人)、「肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)」2人であった。

<北九州市門司区>

調査対象者181人のうちX線検査を受診した者181人。うち所見が見られる者14人(「胸膜プラーク」9人)

ア. 主に直接職歴の者65人。うち所見が見られる者9人(「胸膜プラーク」7人)

- イ．主に間接職歴の者 16 人。うち所見が見られる者 1 人（「胸膜プラーク」0 人）
- ウ．主に家庭内ばく露の者 38 人。うち所見が見られる者 2 人（「胸膜プラーク」1 人）
- エ．主に立ち入り等の者 25 人。うち所見が見られる者 2 人（「胸膜プラーク」1 人）
- オ．上記ばく露歴が確認できない者（その他）37 人。うち所見が見られる者 0 人（「胸膜プラーク」0 人）

所見が見られる者 14 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」2 人、「胸膜プラーク」9 人、「びまん性胸膜肥厚」1 人、「肺野の間質影」2 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」3 名（うち疑い 1 人）であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できる者（「ア」～「エ」の合計）は 144 人で、うち所見が見られる者 14 人の内訳（重複含む。）は、「胸水貯留」2 人、「胸膜プラーク」9 人、「びまん性胸膜肥厚」1 人、「肺野の間質影」2 人、「肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」3 名（うち疑い 1 人）であった。

労働現場等と関係しているばく露歴が確認できない者（「オ」）は 37 人で、うち所見が見られる者はいなかった。

(3) 平成22～25年度受診者のうち、医療の必要があると判断された者の経過把握結果について（巻末：表4－8参照）

平成22～25年度受診者のうち、医療の必要があると判断された者がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て医療機関に照会を行った。また、石綿救済制度等による認定状況を本人や家族に問い合わせた。その結果は以下の通りである。

表4－7 平成22～25年度受診者のうち、医療の必要があると判断された者の経過把握結果について

		a 中皮腫		b 肺がん		c 石綿肺		d 良性石綿胸水		e びまん性胸膜肥厚	
		計	オ. その他	計	オ. その他	計	オ. その他	計	オ. その他	計	オ. その他
大阪府	診断	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	救済制度										
	労災制度					1					
尼崎市	診断	3 (0)	2 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	救済制度	1	1	1	1						
	労災制度	1									
鳥栖市	診断	0 (0)	0 (0)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	救済制度										
	労災制度										
横浜市	診断	0 (0)	0 (0)	4 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
	救済制度									1	
	労災制度										
羽島市	診断	0 (0)	0 (0)	9 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	救済制度			5	3						
	労災制度			2							
奈良県	診断	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	救済制度	1									
	労災制度	1						1			
北九州市	診断	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	救済制度			1							
	労災制度										
合計	診断	5 (0)	2 (0)	20 (3)	8 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
	救済制度	2	1	7	4	0	0	0	0	1	0
	労災制度	2	0	2	0	1	0	1	0	0	0

※ () 内は疑い (内数)

※リスク調査以外が発見の契機の者を含む。

(4) 平成22～25年度受診者のうち、平成26年度に受診しなかった者のアンケート結果

平成22～25年度受診者のうち、平成26年度調査に受診しなかった者に対して、調査に参加しなかった理由についてアンケート調査を行った。

「前回異常がなかったから」が44%で最も多く、「自覚症状（異常）がないから」「忙しく時間がないから」を理由とした者も多かった。また、「石綿関連以外の他疾患が判明し、治療中だから」を理由とした者も約12%であった。

表4-9 平成22～25年度受診者のうち、
平成26年度に受診しなかった者のアンケート結果

	計	
	(人)	(%)
平成26年度未受診者	1,737	100.0%
うち回答者	1,142	65.7%
受診しなかった理由		
前回異常がなかったから	499	43.7%
自覚症状(異常)がないから	245	21.5%
忙しく時間がないから	280	24.5%
住民健診で受けたから	95	8.3%
職場健診を受けたから	60	5.3%
人間ドックで受けたから	36	3.2%
石綿関連疾患が判明し、治療中だから	17	1.5%
石綿関連以外の他疾患が判明し、治療中だから	138	12.1%
その他の理由	335	29.3%

注：割合は回答者を分母として算出

5. 新規受診者の概要

調査計画書において、初年度参加時は全員に対して問診、胸部X線検査及び胸部CT検査を実施すること、2年目以降追跡時は全員に対して問診、胸部X線検査を実施し、胸部CT検査については有所見者のみに実施することを基本としている。平成22年度調査対象者及び平成23～26年度新規受診者について初年度参加時の状況について整理した。

(1) 調査対象者（巻末：表5－2～6参照、問診のみの者は除く）

第2期石綿の健康リスク調査における調査対象者数（実人数）は、7地域合計で4,978人であった。平成22年度の調査対象者は2,707人（調査対象者数に対する割合54%）、平成23年度新規受診者は839人（同17%）、平成24年度新規受診者は434人（同9%）、平成25年度新規受診者は499人（同10%）、平成26年度新規受診者は499人（同10%）であった。

表5－1 調査対象者数

区分	受診状況					調査対象者	
	H22	H23	H24	H25	H26		
平成22年度受診者	○	×	×	×	×	356	2,707
	○	○	×	×	×	132	
	○	×	○	×	×	45	
	○	×	×	○	×	26	
	○	×	×	×	○	22	
	○	○	○	×	×	136	
	○	○	×	○	×	35	
	○	○	×	×	○	20	
	○	×	○	○	×	16	
	○	×	○	×	○	23	
	○	×	×	○	○	20	
	○	○	○	○	×	143	
	○	○	○	×	○	83	
	○	○	×	○	○	54	
	○	×	○	○	○	78	
	○	○	○	○	○	1,518	
平成23年度新規受診者	×	○	×	×	×	311	839
	×	○	○	×	×	56	
	×	○	×	○	×	36	
	×	○	×	×	○	44	
	×	○	○	○	×	52	
	×	○	○	×	○	35	
	×	○	×	○	○	47	
	×	○	○	○	○	258	
平成24年度新規受診者	×	×	○	×	×	188	434
	×	×	○	○	×	53	
	×	×	○	×	○	46	
	×	×	○	○	○	147	
平成25年度新規受診者	×	×	×	○	×	260	499
	×	×	×	○	○	239	
平成26年度新規受診者	×	×	×	×	○	499	499
平成22年度調査対象者	○						2,707
平成23年度調査対象者		○					2,960
平成24年度調査対象者			○				2,877
平成25年度調査対象者				○			2,982
平成26年度調査対象者					○		3,133
実人数合計							4,978

注：問診のみを除外

(2) 医学的所見（巻末：表5－8～10参照）

平成 22 年度調査対象者及び平成 23～26 年度新規受診者の医学的所見の状況は以下のとおりである。

表 5－7 医学的所見の状況

項目	平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者	
	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見
受診者計	2,693	2,448	837	687	433	399	496	453	499	466
所見あり①～⑨	931	1,643	243	421	131	278	162	311	161	329
石綿関連所見あり①～⑧	427	811	78	172	56	131	42	120	57	163
①胸水貯留	3	7	3	1	3	3	3	3	4	4
②胸膜プラーク (受診者に対する割合)	365 14%	723 30%	57 7%	130 19%	47 11%	109 27%	32 6%	94 21%	42 8%	124 27%
③びまん性胸膜肥厚	11	14	2	4	2	1	2	1	5	9
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	－	5	－	1	－	0	－	1	－	1
⑤肺野の間質影 (受診者に対する割合)	72 3%	132 5%	15 2%	39 6%	4 1%	23 6%	8 2%	31 7%	14 3%	38 8%
⑥円形無気肺	－	11	－	2	－	3	－	1	－	5
⑦肺野の腫瘍状陰影(肺がん等)	18	23	7	11	4	13	2	3	2	6
⑧リンパ節の腫大	－	13	－	10	－	3	－	3	－	19
⑨その他	571	1,213	183	312	80	206	133	260	114	258

注：胸部X線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、「－」とした。

6. 継続受診者の概要

平成 22～26 年度における X 線所見、C T 所見を整理し、所見の変化状況について確認した。

(1) 調査対象者

平成 22～26 年度に X 線検査または C T 検査を 2 回以上受診した者を調査対象者とした。前頁表 5－1 に基づき整理した調査対象者は表 6－1 に示すとおりである。

1 年後に受診した調査対象者は 2,961 人（うち X 線検査受診者 2,941 人、C T 検査受診者 1,211 人）、2 年後に受診した調査対象者は 2,628 人（うち X 線検査受診者 2,618 人、C T 検査受診者 1,015 人）、3 年後に受診した調査対象者は 2,274 人（うち X 線検査受診者 2,262 人、C T 検査受診者 947 人）、4 年後に受診した調査対象者は 1,818 人（うち X 線検査受診者 1,808 人、C T 検査受診者 1,642 人）であった。

表 6－1 調査対象者数

区分	受診状況					調査対象者	
	H22	H23	H24	H25	H26		
1 年後に受診した者	○	○				2,121	2,961
	×	○	○			401	
	×	×	○	○		200	
	×	×	×	○	○	239	
2 年後に受診した者	○		○			2,042	2,628
	×	○		○		393	
	×	×	○		○	193	
3 年後に受診した者	○			○		1,890	2,274
	×	○			○	384	
4 年後に受診した者	○				○	1,818	1,818

注：問診のみを除外

表 6－2 調査対象者の属性

項目	区分	1 年後に受診した者				2 年後に受診した者				3 年後に受診した者				4 年後に受診した者			
		X 線検査		CT 検査		X 線検査		CT 検査		X 線検査		CT 検査		X 線検査		CT 検査	
受診者計		2,941	100.0%	1,211	100.0%	2,618	100.0%	1,015	100.0%	2,262	100.0%	947	100.0%	1,808	100.0%	1,642	100.0%
性別	男性	1,552	52.8%	720	59.5%	1,367	52.2%	590	58.1%	1,169	51.7%	555	58.6%	923	51.1%	837	51.0%
	女性	1,389	47.2%	491	40.5%	1,251	47.8%	425	41.9%	1,093	48.3%	392	41.4%	885	48.9%	805	49.0%
生年(年代)	1910	2	0.1%	2	0.2%	2	0.1%	2	0.2%	2	0.1%	2	0.2%	2	0.1%	2	0.1%
	1920	92	3.1%	61	5.0%	83	3.2%	51	5.0%	70	3.1%	45	4.8%	49	2.7%	45	2.7%
	1930	694	23.6%	361	29.8%	608	23.2%	304	30.0%	507	22.4%	263	27.8%	405	22.4%	376	22.9%
	1940	1,138	38.7%	494	40.8%	1,016	38.8%	414	40.8%	879	38.9%	373	39.4%	712	39.4%	634	38.6%
	1950	546	18.6%	198	16.4%	500	19.1%	157	15.5%	448	19.8%	172	18.2%	365	20.2%	330	20.1%
	1960	341	11.6%	74	6.1%	300	11.5%	69	6.8%	256	11.3%	71	7.5%	205	11.3%	189	11.5%
	1970	116	3.9%	19	1.6%	98	3.7%	15	1.5%	93	4.1%	19	2.0%	64	3.5%	60	3.7%
	1980	12	0.4%	2	0.2%	11	0.4%	3	0.3%	7	0.3%	2	0.2%	6	0.3%	6	0.4%
	1990	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ばく露歴分類	ア	625	21.3%	308	25.4%	545	20.8%	247	24.3%	465	20.6%	239	25.2%	371	20.5%	333	20.3%
	イ	256	8.7%	114	9.4%	228	8.7%	88	8.7%	213	9.4%	92	9.7%	157	8.7%	143	8.7%
	ウ	370	12.6%	173	14.3%	338	12.9%	150	14.8%	291	12.9%	123	13.0%	247	13.7%	217	13.2%
	エ	246	8.4%	109	9.0%	223	8.5%	82	8.1%	178	7.9%	74	7.8%	145	8.0%	129	7.9%
	オ	1,444	49.1%	507	41.9%	1,284	49.0%	448	44.1%	1,115	49.3%	419	44.2%	888	49.1%	820	49.9%
第 1 期受診	なし	1,322	45.0%	592	48.9%	1,100	42.0%	447	44.0%	829	36.6%	409	43.2%	543	30.0%	535	32.6%
	あり	1,619	55.0%	619	51.1%	1,518	58.0%	568	56.0%	1,433	63.4%	538	56.8%	1,265	70.0%	1,107	67.4%

注：問診のみを除外、割合は受診者を分母として算出

(2) 医学的所見の経年変化

① X線所見の変化

1 年後に受診した者の所見ではX線検査を受診した 2,941 人のうち、「石綿関連所見あり」が 417 人（受診者に対する割合 14.2%）で初年度と変化がなかった。「①胸水貯留」は 1 人から 5 人に、「③びまん性胸膜肥厚」は 10 人から 13 人に増加したが、「②胸膜プラーク」「⑤肺野の間質影」は減少していた。

2 年後に受診した者の所見ではX線検査を受診した 2,618 人のうち、「石綿関連所見あり」が 369 人（同 14.1%）から 352 人（同 13.4%）に減少していた。「①胸水貯留」は 0 人から 6 人に増加したが、「②胸膜プラーク」「⑤肺野の間質影」「⑦肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」は減少していた。

3 年後に受診した者の所見ではX線検査を受診した 2,262 人のうち、「石綿関連所見あり」が 314 人（同 13.9%）から 299 人（同 13.2%）に減少していた。「①胸水貯留」は 1 人から 8 人に増加したが、「②胸膜プラーク」「③びまん性胸膜肥厚」「⑤肺野の間質影」「⑦肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」は減少していた。

4 年後に受診した者の所見ではX線検査を受診した 1,808 人のうち、「石綿関連所見あり」が 262 人（同 14.5%）から 258 人（同 14.3%）に減少していた。「①胸水貯留」は 0 人から 11 人に増加したが、「③びまん性胸膜肥厚」「⑤肺野の間質影」「⑦肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」は減少していた。

表 6－3 X線所見の変化

項目	1年後に受診した者の所見				2年後に受診した者の所見				3年後に受診した者の所見				4年後に受診した者の所見			
	初年度		1年後		初年度		2年後		初年度		3年後		初年度		4年後	
受診者計	2,941	100%	2,941	100%	2,618	100%	2,618	100%	2,262	100%	2,262	100%	1,808	100%	1,808	100%
所見あり①～⑨	1,079	36.7%	1,108	37.7%	844	32.2%	895	34.2%	730	32.3%	800	35.4%	587	32.5%	660	36.5%
石綿関連所見あり①～⑧	414	14.1%	417	14.2%	369	14.1%	352	13.4%	314	13.9%	299	13.2%	262	14.5%	258	14.3%
①胸水貯留	1	0.0%	5 (1)	0.2%	0	0.0%	6 (0)	0.2%	1	0.0%	8 (0)	0.4%	0	0.0%	11 (0)	0.6%
②胸膜プラーク	363	12.3%	362 (310)	12.3%	326	12.5%	315 (271)	12.0%	275	12.2%	274 (222)	12.1%	233	12.9%	233 (194)	12.9%
③びまん性胸膜肥厚	10	0.3%	13 (8)	0.4%	6	0.2%	6 (4)	0.2%	4	0.2%	3 (3)	0.1%	4	0.2%	2 (1)	0.1%
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤肺野の間質影	55	1.9%	52 (31)	1.8%	47	1.8%	37 (18)	1.4%	41	1.8%	25 (15)	1.1%	35	1.9%	17 (8)	0.9%
⑥円形無気肺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑦肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	14	0.5%	14 (2)	0.5%	15	0.6%	8 (0)	0.3%	12	0.5%	4 (0)	0.2%	8	0.4%	5 (1)	0.3%
⑧リンパ節の腫大	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑨その他	633	21.5%	668 (423)	22.7%	525	20.1%	592 (323)	22.6%	452	20.0%	545 (287)	24.1%	357	19.7%	442 (241)	24.4%

注 1：割合は受診者を分母として算出、() 内は初年度にも所見を有した者

注 2：胸部X線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、「—」とした。

②C T所見の変化

1 年後に受診した者の所見ではC T検査を受診した 1,211 人のうち、「石綿関連所見あり」が 821 人（受診者に対する割合 67.8%）から 790 人（同 65.2%）に減少していた。「①胸水貯留」は 5 人から 6 人に、「③びまん性胸膜肥厚」は 11 人から 14 人に、「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」は 1 人から 5 人に、「⑧リンパ節の腫大」は 11 人から 14 人に増加したが、「②胸膜プラーク」「⑤肺野の間質影」は減少していた。

2 年後に受診した者の所見ではC T検査を受診した 1,015 人のうち、「石綿関連所見あり」が 703 人（同 69.3%）から 686 人（同 67.6%）に減少していた。「①胸水貯留」は 4 人から 9 人に、「②胸膜プラーク」は 650 人から 652 人に、「③びまん性胸膜肥厚」は 8 人から 9 人に、「⑥円形無気肺」は 8 人から 11 人に増加したが、「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑤肺野の間質影」「⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）」「⑧リンパ節の腫大」は減少していた。

3 年後に受診した者の所見ではC T検査を受診した 947 人のうち、「石綿関連所見あり」が 592 人（同 62.5%）から 607 人（同 64.1%）に増加していた。「①胸水貯留」は 2 人から 8 人に、「②胸膜プラーク」は 554 人から 575 人に、「③びまん性胸膜肥厚」は 6 人から 7 人に、「⑥円形無気肺」は 7 人から 9 人に増加したが、「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑤肺野の間質影」「⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）」「⑧リンパ節の腫大」は減少していた。

4 年後に受診した者の所見ではC T検査を受診した 1,642 人のうち、「石綿関連所見あり」が 545 人（同 33.2%）から 587 人（同 35.7%）に増加していた。「①胸水貯留」は 2 人から 10 人に、「②胸膜プラーク」は 500 人から 543 人に、「③びまん性胸膜肥厚」は 5 人から 7 人に、「⑥円形無気肺」は 4 人から 7 人に、「⑧リンパ節の腫大」は 5 人から 9 人に増加したが、「⑤肺野の間質影」「⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）」は減少していた。

表 6－4 C T所見の変化

項目	1年後に受診した者の所見				2年後に受診した者の所見				3年後に受診した者の所見				4年後に受診した者の所見			
	初年度	1年後			初年度	2年後			初年度	3年後			初年度	4年後		
受診者計	1,211	100%	1,211	100%	1,015	100%	1,015	100%	947	100%	947	100%	1,642	100%	1,642	100%
所見あり①～⑧	1,107	91.4%	1,079	89.1%	896	88.3%	907	89.4%	788	83.2%	812	85.7%	1,112	67.7%	1,270	77.3%
石綿関連所見あり①～⑧	821	67.8%	790	65.2%	703	69.3%	686	67.6%	592	62.5%	607	64.1%	545	33.2%	587	35.7%
①胸水貯留	5	0.4%	6	(1) 0.5%	4	0.4%	9	(1) 0.9%	2	0.2%	8	(0) 0.8%	2	0.1%	10	(0) 0.6%
②胸膜プラーク	742	61.3%	721	(693) 59.5%	650	64.0%	652	(625) 64.2%	554	58.5%	575	(539) 60.7%	500	30.5%	543	(472) 33.1%
③びまん性胸膜肥厚	11	0.9%	14	(10) 1.2%	8	0.8%	9	(5) 0.9%	6	0.6%	7	(3) 0.7%	5	0.3%	7	(3) 0.4%
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	1	0.1%	5	(0) 0.4%	3	0.3%	2	(0) 0.2%	2	0.2%	1	(0) 0.1%	3	0.2%	3	(0) 0.2%
⑤肺野の間質影	116	9.6%	95	(74) 7.8%	87	8.6%	81	(46) 8.0%	67	7.1%	64	(35) 6.8%	70	4.3%	57	(33) 3.5%
⑥円形無気肺	13	1.1%	13	(11) 1.1%	8	0.8%	11	(8) 1.1%	7	0.7%	9	(7) 1.0%	4	0.2%	7	(4) 0.4%
⑦肺野の腫瘍状陰影(肺がん等)	21	1.7%	21	(3) 1.7%	17	1.7%	16	(0) 1.6%	10	1.1%	5	(0) 0.5%	13	0.8%	7	(0) 0.4%
⑧リンパ節の腫大	11	0.9%	14	(4) 1.2%	9	0.9%	6	(3) 0.6%	10	1.1%	5	(3) 0.5%	5	0.3%	9	(2) 0.5%
⑨その他	667	55.1%	679	(521) 56.1%	519	51.1%	599	(405) 59.0%	459	48.5%	553	(364) 58.4%	812	49.5%	1,038	(716) 63.2%

注 1：割合は受診者を分母として算出、() 内は初年度にも所見を有した者。

注 2：調査計画書において、2 年目以降追跡時（平成 23～25 年度）の C T 検査は有所見者のみに実施することを基本としている。従って、1～3 年後に受診した者の所見は、有所見者に偏った結果であることに注意が必要である。

初年度「所見なし」で1～4年後に石綿関連所見①～⑧を生じた者の所見変化は表6－5に、1～4年後に「①胸水貯留」「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑦肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」を有する者の所見変化は表6－6に示すとおりである。

初年度に「所見なし」で1～4年後に生じた石綿関連所見は「①胸水貯留」1人、「②胸膜プラーク」41人、「⑤肺野の間質影」7人、「⑦肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」4人、「⑧リンパ節の腫大」1人であった。

1～4年後に「①胸水貯留」を有する者は「②胸膜プラーク」「③びまん性胸膜肥厚」「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑤肺野の間質影」「⑥円形無気肺」を同時に有し、過去に「②胸膜プラーク」を有する者が多かった。

1～4年後に「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑦肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」を有する者は過去に「②胸膜プラーク」を有する者が多かった。

表6－5 初年度「所見なし」のうち石綿関連所見①～⑧を生じた者

	性別	生年	X線所見					CT所見				ばく露 分類	
			H22	H23	H24	H25	H26	H22	H23	H24	H25		H26
1	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし	(2)⑨			なし	ア
2	男性	1930	なし	なし	なし	なし	⑨	なし	(2)疑	(2)⑨	②	(2)⑨	オ
3	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし	(2)疑	なし	⑨	⑨	オ
4	女性	1940	⑨	なし	なし	なし	なし	なし	⑤	⑨	なし	⑤	ウ
5	男性	1940	なし	なし	②	⑨		なし		(2)⑨	②		ア
6	男性	1960	なし	なし	なし	なし	なし	なし	②		なし	⑨	ア
7	男性	1940	なし	(2)疑	なし	なし	なし	なし	(2)疑⑨	(2)⑨	(2)⑨	(2)⑨	ア
8	女性	1960	なし	⑨	なし	なし	なし	なし	(2)疑⑨		(2)疑⑨	⑨	ウ
9	男性	1930	なし	なし	⑨	なし	なし	なし	⑤		⑤	⑤	ア
10	男性	1930	なし	なし	⑨	⑨	なし	なし			(1)⑨	⑨	ア
11	男性	1930	なし	なし	なし	②	なし	なし			②		ア
12	男性	1940	なし	⑨	⑨	⑨	⑨	なし			②	②	オ
13	男性	1940	なし	なし	⑨	⑨	(9)疑	なし				(2)⑤	イ
14	男性	1930	なし	なし	⑨	なし	⑨	なし				(2)⑨	エ
15	女性	1930	なし		なし	なし	なし	なし				(2)⑨	オ
16	女性	1950	なし				なし	なし				(2)⑨	ア
17	男性	1930	なし	なし	なし	なし	⑨	なし				(2)疑⑨	ア
18	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				(2)疑⑨	エ
19	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				②	ア
20	男性	1930	なし				なし	なし				②	ア
21	男性	1940	②	なし	なし	なし	なし	なし				②	オ
22	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				②	ウ
23	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				②	オ
24	女性	1970	なし	なし	なし	なし	なし	なし				②	イ
25	女性	1950	なし	なし	なし	なし	なし	なし				②	オ
26	女性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし				②	イ
27	男性	1960	なし	なし	なし	なし	なし	なし				②	オ
28	男性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				②	オ
29	女性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	なし				②	オ
30	男性	1930	⑨	なし	なし	なし	なし	なし				②	ア
31	女性	1940	なし	⑨	なし	なし	なし	なし				(2)疑	オ
32	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				(2)疑	オ
33	女性	1950	なし	なし	なし	なし	なし	なし				(2)疑	オ
34	男性	1930	なし	なし	(9)疑	なし	なし	なし				(2)疑	ア
35	女性	1950	なし	なし	なし	なし	なし	なし				(2)疑	オ
36	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	なし				(5)疑	オ
37	男性	1940	なし	なし	なし	なし	(7)	なし				(7)	ア
38	女性	1940	なし				なし	なし				(8)	オ
39	男性	1950		なし	なし	なし	なし		なし	(2)⑨	なし	(2)⑨	オ
40	女性	1930		⑨	なし	なし	なし		なし	②			ウ
41	女性	1940		なし	なし	なし			なし	⑨	(7)⑨		オ
42	男性	1950		なし	なし	なし	なし		なし	⑨	(7)⑨		ア
43	男性	1930		⑨		⑨	⑨		なし			(2)⑨	ア
44	男性	1930		なし	なし	なし	なし		なし			②	イ
45	男性	1940		なし	なし	なし	なし		なし		なし	②	エ
46	男性	1940		なし	⑨	なし	なし		なし			(2)疑	ウ
47	男性	1940		なし	⑨	⑨	なし		なし			(2)疑	ア
48	男性	1940		⑨	なし	⑨	⑨		なし			(5)⑨	イ
49	女性	1940		なし	なし	なし	なし		なし			(5)⑨	オ
50	男性	1940		なし		なし	なし		なし			⑤	オ
51	男性	1940			なし	⑨	なし			なし		②	オ
52	男性	1950				なし	なし				なし	②	オ
53	女性	1950				なし	(7)疑				なし	(7)疑⑨	オ

表 6－6① 「①胸水貯留」を有する者の所見変化

	性別	生年	X線所見					CT所見				ばく露 分類	
			H22	H23	H24	H25	H26	H22	H23	H24	H25		H26
1	男性	1930	⑨	⑨	①	①②	①	②疑⑨	①	①②疑⑨	①②④	②④⑨	イ
2	男性	1950		①②				②	①②				ア
3	男性	1920	②	②⑨	②⑨			①②⑨	①②⑨	②⑨			エ
4	男性	1940	⑨	⑦疑	⑨	⑨	⑨	②⑨	①②⑨	⑤⑨	⑨	②⑨	ア
5	男性	1930	⑨	①	⑨	①⑨	①	⑨	①⑨			①⑨	オ
6	男性	1940	②疑	なし	なし			②	②	①②			ア
7	男性	1930	②	②疑	①	①②	①疑③疑	②	②	①②	①②	①疑②③	オ
8	男性	1930	②⑦⑨	②⑦	②⑨	①②⑨	①②⑨	②⑥⑨	②⑥⑨	①②③⑥⑨	①②⑥⑨	①②⑥⑨	ア
9	男性	1920	②		①②⑨			②⑨		①②④⑥⑨			ア
10	男性	1940	②	②	②⑨	①②⑨	①疑②	②	②	①②⑨	①②⑨	②③⑨	ア
11	男性	1940	②⑨	②⑨	①②⑨		①疑②疑⑨	②⑨	②⑨	①②⑨		②③⑨	オ
12	女性	1920	②	②③	②	①②⑨	②	②③	②③	②	①②	②	イ
13	男性	1920	②	②⑨	②⑨	②⑨		②⑨	②⑨		①②⑨		ア
14	男性	1930	なし	なし	⑨	⑨	なし	なし			①⑨	⑨	ア
15	男性	1930	なし				①	⑨				①	ア
16	女性	1940	⑨	なし	⑨	⑨	なし	⑨	⑨	⑨	⑨	①	オ
17	女性	1970		なし	なし	なし	①	②疑	⑨	⑨	なし	①②	ウ
18	男性	1930	②疑	なし	なし	なし	①	②	②⑨	②⑨	②⑨	①②	オ
19	女性	1930			②⑨		①②⑤⑨			①②⑨		①②⑨	ア
20	男性	1930			⑨		①⑨			②⑨		①②⑨	イ
21	男性	1930	②③⑤⑨	②③⑤	②③⑨		①⑤	②③⑤	②③④⑤⑥疑	②③⑤		①③⑤⑨	イ
22	男性	1930	なし	なし	⑨	なし	①	なし		⑨		①④	オ
23	男性	1930				⑨	⑨				⑨	①⑨	ア

表 6－6② 「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」を有する者の所見変化

	性別	生年	X線所見					CT所見					ばく露 分類
			H22	H23	H24	H25	H26	H22	H23	H24	H25	H26	
1	男性	1930	②③⑤⑨	②③⑤	②③⑨		①⑤	②③⑤	②③④⑤⑥疑	②③⑤		①③⑤⑨	イ
2	男性	1930	②	なし	なし	②	なし	②⑨	②④	②⑨	②⑨	②⑨	ウ
3	男性	1940	⑨	⑨		⑨	なし	⑨	④		⑨	なし	ア
4	男性	1920	②		①②⑨			②⑨		①②④⑥⑨			ア
5	男性	1920	②		②⑦疑⑨	②⑨	②⑨	②⑨		②④⑤⑨	②③⑥⑨	②⑥⑨	オ
6	男性	1930	⑨	⑨	①	①②	①	②疑⑨	①	①②疑⑨	①②④	②④⑨	イ
7	男性	1930	なし	なし	⑨	なし	①	なし		⑨		①④	オ
8	男性	1930				①疑②⑨疑	①②⑤疑⑦				①②⑥⑨	②④⑥疑⑦⑧⑨	ア
9	男性	1940				⑨	⑨				②⑤⑨	②④⑨	エ

表 6－6③ 「⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）」を有する者の所見変化

	性別	生年	X線所見					CT所見				ばく露 分類	
			H22	H23	H24	H25	H26	H22	H23	H24	H25		H26
1	男性	1920	②③	②③	②③			②③	②③⑥⑦疑		②③⑨		ア
2	女性	1930	②③	②③		②③		②③⑥⑧	②③⑦⑧				ア
3	女性	1940	②⑦	②⑦	②⑨		②⑨	②⑦⑨	②⑦⑨	②⑨		②⑨	オ
4	男性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	②疑⑨	⑦	②⑨	②	②⑨	エ
5	男性	1930	⑨	③⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑦⑨	⑨	⑨	⑨	ア
6	男性	1930	なし	なし	なし	②疑⑨	⑨	②⑨	⑦⑨	②⑨	②⑤⑨	②⑤⑨	オ
7	女性	1930	⑨	⑨	⑨			⑨	⑦⑨	⑨			オ
8	男性	1940	⑨	⑦⑨	⑨	なし	⑨疑	⑨	⑦⑨	⑨		⑨	オ
9	男性	1930				②⑤⑨	②⑤		②⑨疑	②⑤⑦疑	②⑤	②⑤	オ
10	男性	1940	②	②	②	②	②	②⑨	②⑨	②⑦	②⑦⑨	②⑨	ア
11	男性	1930	②	②	なし	なし	⑨	②	②⑨	②⑦	②	②	オ
12	女性	1930	なし	②	なし	なし	なし	②⑨	②	②⑦	②	②	オ
13	男性	1930	なし	なし	なし	なし	なし	②	②	②⑦	②⑨	②⑨	オ
14	女性	1930	②	②	②	②	②	②⑨	②⑨	②⑦	②⑨	②⑨	オ
15	男性	1940	②	②	②	②	②	②	②⑨	②⑦	②⑨	②⑨	オ
16	男性	1940	②疑	②	なし	なし	なし	②⑨	②⑨	②⑦	②⑨	②⑨	イ
17	男性	1930		②	②	②	②		②⑨	②⑦	②⑨	②⑨	ア
18	女性	1940		②	②	②	②		②	②⑦	②⑨	②⑨	オ
19	男性	1930	②	②	②			②⑨	②	②⑦			オ
20	女性	1940	なし	なし	なし			②⑨	②⑨	②⑦			オ
21	女性	1920	なし	⑨	②			②⑨	②⑨	②⑦			イ
22	男性	1940		②	なし				②	②⑦			ア
23	男性	1930	⑨		⑦⑨			②疑⑨		②疑⑦⑧⑨			オ
24	男性	1930		②疑⑤	②疑⑦疑⑨	⑨	⑨		②⑨	②⑦疑⑨	②⑨	②⑨	ア
25	男性	1940		⑤⑨	⑤⑨	⑤⑨			⑤⑧⑨	⑤⑦⑨	⑤⑨		エ
26	女性	1940		なし	⑨疑				⑦	⑦			オ
27	女性	1960	なし	なし	なし	なし	⑨	⑨	⑨	⑦	⑨	⑨	エ
28	女性	1920	②⑨	②⑨	②⑤疑			②⑨	②⑨	⑦			ア
29	男性	1930		②疑⑨	⑨				②⑨	⑦⑨			エ
30	男性	1960	なし	なし	なし	⑨	なし	⑨	⑨	⑨	②⑦	⑨	オ
31	男性	1960	なし	なし	なし	⑨		②	②	②⑦			ア
32	女性	1920	なし	②疑	②疑	②疑		②疑	②疑	②疑	②疑⑦疑		オ
33	男性	1920	なし	⑨	⑨	⑨	⑨	②⑨	②⑨	②⑨	②⑦⑨	②⑨	オ
34	男性	1930			なし	⑦疑	なし			⑨	⑦	⑨	オ
35	女性	1940		なし	なし	なし				⑨	⑦⑨		オ
36	男性	1950		なし	なし	なし	なし		なし	⑨	⑦⑨	⑨	ア
37	男性	1930			①疑②⑨疑	①②⑤疑⑦					①②⑥⑨	②④⑥疑⑦⑧⑨	ア
38	男性	1940	⑨		なし	⑤⑨	⑤⑨	②⑤⑨		②⑤	②⑤	②⑤⑦⑨	ア
39	男性	1930			②⑤	②⑦				②⑤		②⑤⑦疑⑨	オ
40	女性	1940	なし	なし	なし	なし	なし	②	②	②	②	②⑦	イ
41	男性	1930	②⑨	②⑨	②⑨	②⑨	②⑨	②⑨	②⑨	⑨	②⑨	②⑦⑨	ア
42	女性	1930	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑤⑨	②⑨	②⑨	②疑⑨	⑦	ア
43	男性	1930	⑨				⑦	②疑⑨				⑦	ア
44	女性	1950				なし	なし				⑦	⑦⑨	オ
45	男性	1930				⑨	⑨				⑨	⑦⑨	オ
46	女性	1950				なし	⑦疑				なし	⑦疑⑨	オ

③ X線検査とCT検査の比較

平成 22～26 年度の 5 年間に X 線検査・CT 検査ともに受診した対象者 428 人について、X 線検査と CT 検査における所見の発見状況を比較するために、年度別の有所見割合を整理した。

「石綿関連所見あり」では、X 線有所見割合は 45.6～48.6%（受診者に対する割合）、CT 所見有所見割合は 93.2～93.7%（同）であり、約 45 ポイントの差が認められた。

「②胸膜プラーク」では、X 線有所見割合は 43.0～45.6%（同）、CT 所見有所見割合は 90.7～92.3%（同）であり、約 45 ポイントの差が認められた。

「⑤肺野の間質影」では、X 線有所見割合は 2.1～4.7%（同）、CT 所見有所見割合は 6.1～9.6%（同）であり、約 4 ポイントの差が認められた。

X 線検査に比べて CT 検査では約 2 倍程度の所見を発見していた。

表 6－7 X 線検査と CT 検査の比較

項目	平成22年度所見		平成23年度所見		平成24年度所見		平成25年度所見		平成26年度所見	
	X線	CT	X線	CT	X線	CT	X線	CT	X線	CT
受診者計	428 100%	428 100%	428 100%	428 100%	428 100%	428 100%	428 100%	428 100%	428 100%	428 100%
所見あり①～⑨	253 59.1%	423 98.8%	256 59.8%	427 99.8%	250 58.4%	427 99.8%	264 61.7%	426 99.5%	268 62.6%	426 99.5%
石綿関連所見あり①～⑧	203 47.4%	400 93.5%	208 48.6%	401 93.7%	195 45.6%	401 93.7%	195 45.6%	399 93.2%	201 47.0%	399 93.2%
①胸水貯留	0 0.0%	1 0.2%	0 0.0%	2 0.5%	2 0.5%	4 0.9%	5 1.2%	5 1.2%	5 1.2%	4 0.9%
②胸膜プラーク	188 43.9%	388 90.7%	195 45.6%	391 91.4%	184 43.0%	394 92.1%	191 44.6%	395 92.3%	193 45.1%	389 90.9%
③びまん性胸膜肥厚	2 0.5%	4 0.9%	4 0.9%	4 0.9%	2 0.5%	5 1.2%	1 0.2%	2 0.5%	2 0.5%	4 0.9%
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	－	1 0.2%	－	1 0.2%	－	0 0.0%	－	1 0.2%	－	1 0.2%
⑤肺野の間質影	20 4.7%	36 8.4%	15 3.5%	33 7.7%	13 3.0%	41 9.6%	9 2.1%	26 6.1%	9 2.1%	28 6.5%
⑥円形無気肺	－	4 0.9%	－	4 0.9%	－	5 1.2%	－	5 1.2%	－	5 1.2%
⑦肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)	5 1.2%	6 1.4%	3 0.7%	3 0.7%	1 0.2%	8 1.9%	0 0.0%	3 0.7%	0 0.0%	3 0.7%
⑧リンパ節の腫大	－	2 0.5%	－	3 0.7%	－	0 0.0%	－	1 0.2%	－	3 0.7%
⑨その他	71 16.6%	206 48.1%	82 19.2%	212 49.5%	75 17.5%	252 58.9%	91 21.3%	263 61.4%	91 21.3%	273 63.8%

注 1：調査計画書において、2 年目以降追跡時（平成 23～25 年度）の CT 検査は有所見者のみに実施することを基本としている。従って、有所見者に偏った結果であることに注意が必要である。

注 2：割合は受診者を分母として算出。

注 3：胸部 X 線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、「－」とした。

注 4：X 線検査の読影と CT 検査の読影は必ずしも別々に行われていないため、互いの読影の結果に影響を及ぼしている可能性があることに留意が必要である。

7. 第2期調査（5年間）のまとめ

（1）受診状況

平成 22～26 年度の調査対象者数は 7 地域合計で延べ 14,664 人、実人数 4,978 人であり、
 ばく露歴分類「ア. 直接職歴」1,127 人、「イ. 間接職歴」411 人、「ウ. 家庭内ばく露」562
 人、「エ. 立ち入り等」422 人、「オ. その他」2,456 人であった。

表 7－1① 平成 22～26 年度調査対象者（年齢別）

年齢階層	合計		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	計	うち 女性	計	うち 女性	計	うち 女性	計	うち 女性	計	うち 女性	計	うち 女性
40歳未満	395	213	107	58	96	50	80	45	61	30	51	30
40～49歳	1382	728	270	140	302	163	286	152	271	143	253	130
50～59歳	2125	1179	448	244	438	241	404	225	399	223	436	246
60～69歳	5071	2452	979	485	1081	511	989	482	1002	486	1020	488
70～79歳	4591	1967	754	327	879	371	919	398	972	415	1067	456
80～89歳	1072	405	151	48	174	69	198	75	250	98	299	115
90～99歳	28	7	2	0	3	0	7	2	8	2	8	3
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14664	6951	2711	1302	2973	1405	2883	1379	2963	1397	3134	1468

(2) 医学的所見

平成 22～26 年度の石綿関連所見の有所見率は表 7-2 に示すとおりである。

胸部 X 線検査受診者 4,955 人（実人数）に基づく胸部 X 線検査の有所見率は 15.1%であった。
所見別では「②胸膜プラーク」11.9%が最も高く、次いで「⑤肺野の間質影」2.6%であった。

胸部 C T 検査受診者 4,652 人（実人数）に基づく胸部 C T 検査の有所見率は 33.2%であった。
所見別では「②胸膜プラーク」27.8%が最も高く、次いで「⑤肺野の間質影」5.9%、「⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）」1.5%、「⑧リンパ節の腫大」1.2%であった。

表 7-2 ① 平成 22～26 年度石綿関連所見の有所見率（胸部 X 線検査）

	実人数		延べ人数		H22		H23		H24		H25		H26	
胸部 X 線検査受診者	4,955	100.0%	14,609	100.0%	2,697	100.0%	2,959	100.0%	2,876	100.0%	2,956	100.0%	3,121	100.0%
石綿関連所見（疑いを含む）	747	15.1%	2,014	13.8%	455	16.9%	406	13.7%	378	13.1%	363	12.3%	412	13.2%
①胸水貯留	37	0.7%	49	0.3%	4	0.1%	9	0.3%	7	0.2%	9	0.3%	20	0.6%
②胸膜プラーク（胸膜肥厚斑）	589	11.9%	1,769	12.1%	395	14.6%	348	11.8%	342	11.9%	330	11.2%	354	11.3%
③びまん性胸膜肥厚	28	0.6%	46	0.3%	11	0.4%	12	0.4%	8	0.3%	7	0.2%	8	0.3%
⑤肺野の間質影	128	2.6%	248	1.7%	72	2.7%	53	1.8%	43	1.5%	31	1.0%	49	1.6%
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	38	0.8%	63	0.4%	19	0.7%	15	0.5%	9	0.3%	7	0.2%	13	0.4%

注：胸部 X 線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、記載していない。

表 7-2 ② 平成 22～26 年度石綿関連所見の有所見率（胸部 C T 検査）

	実人数		延べ人数		H22		H23		H24		H25		H26	
胸部 CT 検査受診者	4,652	100.0%	9,570	100.0%	2,403	100.0%	1,550	100.0%	1,319	100.0%	1,295	100.0%	3,003	100.0%
石綿関連所見（疑いを含む）	1,543	33.2%	4,107	42.9%	792	33.0%	776	50.1%	777	58.9%	762	58.8%	1,000	33.3%
①胸水貯留	34	0.7%	52	0.5%	7	0.3%	8	0.5%	10	0.8%	9	0.7%	18	0.6%
②胸膜プラーク（胸膜肥厚斑）	1,294	27.8%	3,714	38.8%	709	29.5%	703	45.4%	724	54.9%	710	54.8%	868	28.9%
③びまん性胸膜肥厚	41	0.9%	66	0.7%	14	0.6%	17	1.1%	10	0.8%	7	0.5%	18	0.6%
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	16	0.3%	22	0.2%	6	0.2%	6	0.4%	2	0.2%	2	0.2%	6	0.2%
⑤肺野の間質影	273	5.9%	565	5.9%	127	5.3%	103	6.6%	103	7.8%	84	6.5%	148	4.9%
⑥円形無気肺	29	0.6%	60	0.6%	11	0.5%	10	0.6%	14	1.1%	11	0.8%	14	0.5%
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	69	1.5%	111	1.2%	24	1.0%	23	1.5%	34	2.6%	11	0.8%	19	0.6%
⑧リンパ節の腫大	56	1.2%	83	0.9%	12	0.5%	19	1.2%	8	0.6%	7	0.5%	37	1.2%

注：2 年目以降（平成 23～25 年度）追跡時の C T 検査は有所見者のみに実施したことに留意が必要である。

(3) 医学的所見の変化（改善・変化なし・悪化）

平成 22 年度と平成 26 年度の調査に参加した者を対象として、平成 22 年度と平成 26 年度における石綿関連所見の変化（4 年後）を整理した。なお、石綿関連所見のなかった者や平成 26 年度に胸部 CT 検査を受診しなかった者などを除外した 1,334 人を対象とした。

平成 22 年度あるいは平成 26 年度調査において「①胸水貯留」を有した者は 11 人で、改善した者 2 人、変化がなかった者 3 人、悪化した者 6 人であった。

同様に「②胸膜プラーク」を有した者は 555 人で、改善した者 18 人、変化がなかった者 478 人、悪化した者 59 人であった。

「③びまん性胸膜肥厚」を有した者は 7 人で、変化がなかった者 3 人、悪化した者 4 人であった。

「④胸膜腫瘍（中皮腫疑い）」を有した者は 3 人で、全員が悪化していた。

「⑤肺野の間質影」を有した者は 75 人で、改善した者 17 人、変化がなかった者 36 人、悪化した者 22 人であった。

「⑥円形無気肺」を有した者は 7 人で、変化がなかった者 4 人、悪化した者 3 人であった。

「⑦肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）」を有した者は 14 人で、改善した者 5 人、変化がなかった者 4 人、悪化した者 5 人であった。

「⑧リンパ節の腫大」を有した者は 11 人で、改善した者 1 人、変化がなかった者 4 人、悪化した者 6 人であった。

表 7-3 石綿関連所見の変化（4 年後）

	計		改善		変化なし		悪化	
対象者数	1,334	71.6%						
①胸水貯留	11	0.6%	2	18.2%	3	27.3%	6	54.5%
②胸膜プラーク	555	29.8%	18	3.2%	478	86.1%	59	10.6%
③びまん性胸膜肥厚	7	0.4%	0	0.0%	3	42.9%	4	57.1%
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	3	100.0%
⑤肺野の間質影	75	4.0%	17	22.7%	36	48.0%	22	29.3%
⑥円形無気肺	7	0.4%	0	0.0%	4	57.1%	3	42.9%
⑦肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）	14	0.8%	5	35.7%	4	28.6%	5	35.7%
⑧リンパ節の腫大	11	0.6%	1	9.1%	4	36.4%	6	54.5%
⑨その他	1,160	62.2%	88	7.6%	846	72.9%	226	19.5%

(4) 石綿関連疾患の診断状況

平成 22～26 年度受診者のうち、石綿関連疾患と診断された者は 40 人であった。疾患別では、「中皮腫」9 人、「肺がん」26 人、「石綿肺」1 人、「良性石綿胸水」2 人、「びまん性胸膜肥厚」2 人であり、ばく露歴「ア. 直接職歴」「オ. その他」に多かった。

また、平成 26 年度に音信不通などによりフォローアップができなかった者について住民基本台帳、人口動態調査²等により可能な限り確認を行った結果、105 人が死亡し、うち 4 名が石綿関連であることが明らかとなった。

表 7-4 石綿関連疾患と診断された者の診断状況

		ばく露歴					合計
		ア. 直接職歴	イ. 間接職歴	ウ. 家庭内	エ. 立入等	オ. その他	
中皮腫	男性	6	1	0	0	0	7
	女性	0	0	0	0	2	2
	計	6	1	0	0	2	9
肺がん	男性	7	0	1	0	7	15
	女性	1	1	3	0	6	11
	計	8	1	4	0	13	26
石綿肺	男性	0	0	0	0	0	0
	女性	1	0	0	0	0	1
	計	1	0	0	0	0	1
良性石綿胸水	男性	2	0	0	0	0	2
	女性	0	0	0	0	0	0
	計	2	0	0	0	0	2
びまん性胸膜肥厚	男性	2	0	0	0	0	2
	女性	0	0	0	0	0	0
	計	2	0	0	0	0	2
合計	男性	17	1	1	0	7	26
	女性	2	1	3	0	8	14
	計	19	2	4	0	15	40

※リスク調査以外が発見の契機の者を含む。

² 平成 24 年 1 月～平成 27 年 3 月までの死亡小票の確認を行った。

(5) 受診者アンケート

第2期石綿の健康リスク調査を総括し今後の健康管理に役立てるため、調査参加者全員を対象に、参加理由や参加前後における不安感の変化等に関するアンケート調査を実施した。

①結果概要

アンケートへの回答数は3,375人であった。

第2期石綿の健康リスク調査には、健康に不安を感じた者（全体の79%）が、早期発見・早期治療（61%）、健康影響の有無確認（67%）、安心感を得ること（61%）を目的として調査に参加した。

調査に参加した結果、不安が減少したと感じた者は68%で、不安が増加したと感じた者が9%であった。

検査の結果、異常が見つかった者は39%で、そのうち、治療が必要な者が5%であった。

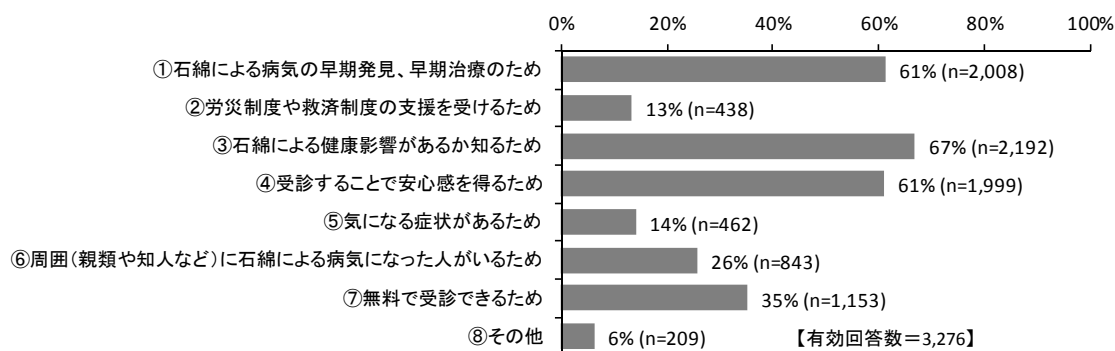
調査に参加して、異常の有無がはっきりしたこと（65%）、石綿による健康影響の情報が得られたこと（48%）を良かったと評価していた。

毎年あるいは数年に一度の検査を希望している者は91%で、異常がなかった者などが調査に参加したくないと考えている。

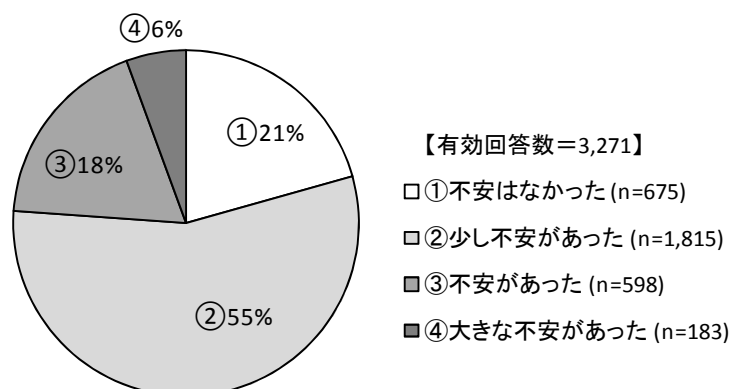
②結果

問1. 健康リスク調査に参加された理由について、あてはまるものを選んでください。

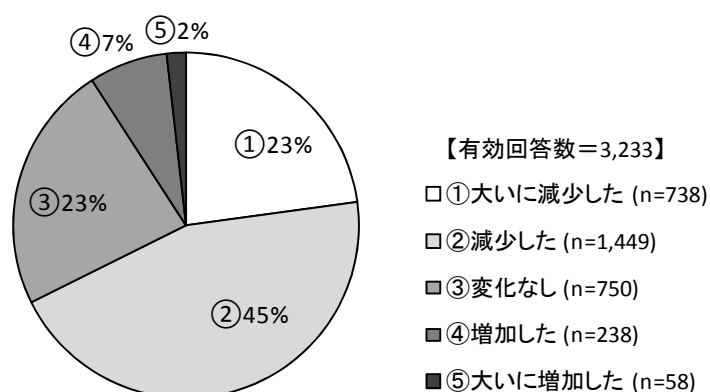
【複数回答可】



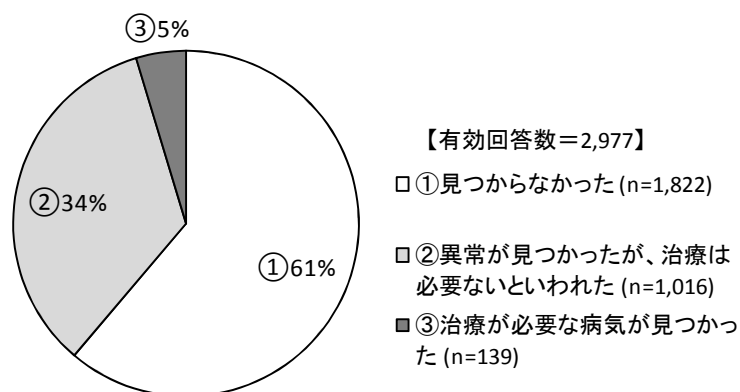
問 2. 健康リスク調査に参加する前は、石綿による健康影響に対する不安はありましたか。
あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】



問 3. 健康リスク調査に参加した結果、石綿による健康影響に対する不安は、健康リスク調査に参加する前と比べてどのように変化しましたか。あてはまるものを選んでください。
【1つのみ回答】

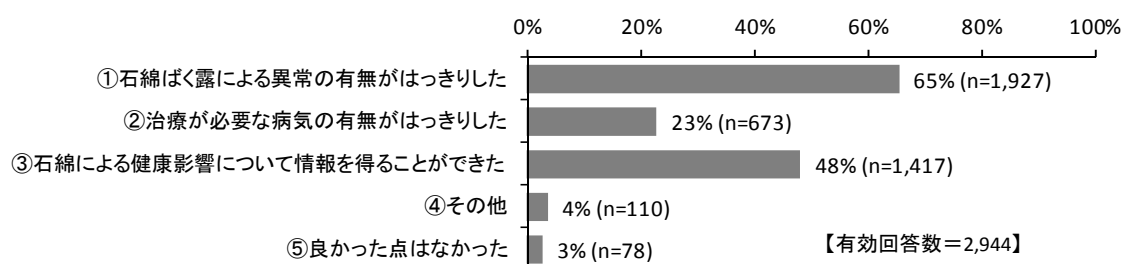


問 4. 健康リスク調査における検査の結果、これまでに何らかの異常や病気が見つかりましたか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】

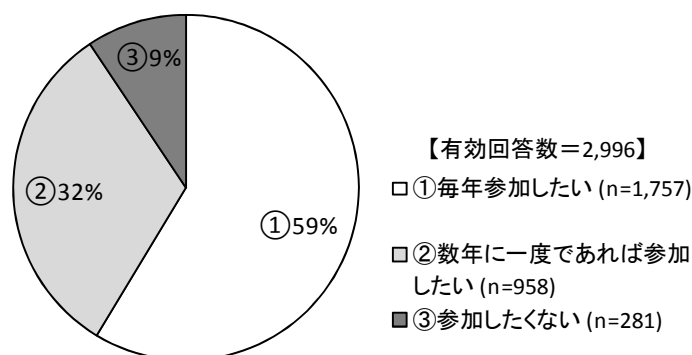


問5. 健康リスク調査に参加して良かった点は何ですか。あてはまるものを選んでください。

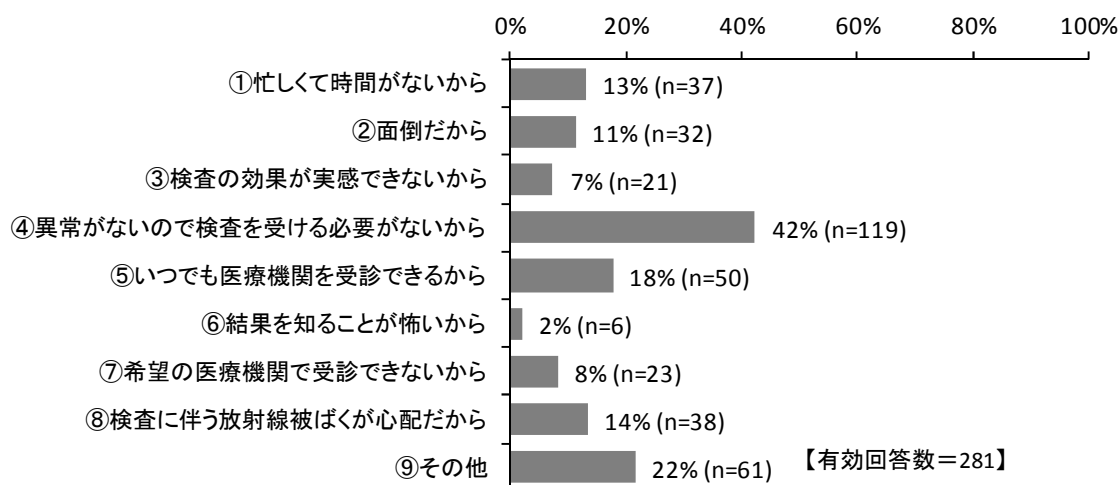
【複数回答可】



問6 (1). 今後も同じような調査が実施されれば、参加したいですか。あてはまるものを選んでください。【1つのみ回答】



問6 (2). (1)で「③参加したくない」を選んだ方は、その理由は何ですか。あてはまるものを選んでください。【複数回答可】



8. 平成26年度の7地域合計の調査結果のまとめ

(1) 受診状況について

- 7地域合計の受診者 3,134 人を年代別にみると 60 歳代（受診者に対する割合 33%）、70 歳代（同 34%）の受診者が多かった。
- 受診者 3,134 人のうち、平成 26 年度新規受診者は 500 人（受診者に対する割合 16%）で、平成 22～25 年度に受診した者（継続受診者）は 2,634 人（同 84%）であった。新規受診者の割合は、尼崎市（同 33%）、大阪府（同 29%）、北九州市（同 27%）で高かった。
第 2 期リスク調査に参加し平成 26 年度に受診しなかった者約 1,700 人の受診しなかった理由としては、「前回異常がなかったから」「自覚症状（異常）がないから」「忙しく時間がないから」が多かった。

(2) ばく露歴と医学的所見について

- 問診によるばく露歴確認の結果、7 地域合計の受診者 3,134 人のうち、「ア. 主に直接職歴」の者は 22%（受診者に対する割合 679 人）、「イ. 主に間接職歴」の者は 8%（同 255 人）、「ウ. 主に家庭内ばく露」の者は 12%（同 384 人）、「エ. 主に立ち入り等」の者は 8%（同 261 人）、「オ. ア～エのばく露歴が確認できない（その他）」の者は 50%（同 1,555 人）であった。
このうち、労働現場等と関連しているばく露歴が確認できない者（ばく露区分「オ」）の地域ごとの割合は、大阪府 35%（同）、尼崎市 57%（同）、鳥栖市 34%（同）、横浜市 56%（同）、羽島市 63%（同）、奈良県 52%（同）、北九州市 20%（同）であり、いずれの地域においても労働現場等と関連しているばく露歴が確認できない者が一定以上いた。
- X線検査受診者 3,121 人のうち、石綿ばく露特有の所見である「胸膜プラーク」が見られた者は 7 地域合計で 354 人（受診者に対する割合 11%）であった。
労働現場等と関連しているばく露歴が確認できる者 1,571 人（ばく露区分「ア」～「エ」の合計）のうち、「胸膜プラーク」が見られた者は 7 地域合計で 220 人（同 14%）であり、羽島市（同 27%）で高かった。
労働現場等と関連しているばく露歴が確認できない者 1,550 人（ばく露区分「オ」）のうち、「胸膜プラーク」が見られた者は 7 地域合計で 134 人（同 9%）であり、羽島市（同 13%）で高かった。
- X線検査受診者 3,121 人のうち、肺線維化所見である「肺野の間質影」が見られた者は 7 地域合計で 49 人（受診者に対する割合 2%、うち「胸膜プラーク」あり 11 人）であった。
労働現場等と関連しているばく露歴が確認できる者 1,571 人（ばく露区分「ア」～「エ」の合計）のうち、「肺野の間質影」が見られた者は 7 地域合計で 32 人（同 2%、うち「胸膜プラーク」あり 7 人）であり、尼崎市（同 4%）で高かった。

労働現場等と関連しているばく露歴が確認できない者 1,550 人（ばく露区分「オ」）のうち、「肺野の間質影」が見られた者は 7 地域合計で 17 人（同 1%、うち「胸膜プラーク」あり 4 人）であった。

- C T 所見の変化において、1～4 年後に「胸水貯留」を有する者 23 人のうち、同時に確認された所見は「胸膜プラーク」15 人、「びまん性胸膜肥厚」2 人、「胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」2 人、「円形無気肺」2 人であった。初年度に「胸膜プラーク」を有する者が多かった。

表 2 各地域の調査概要

	大阪府泉南地域等	尼崎市	鳥栖市	横浜市鶴見区
調査対象者	原則として次の①～③を満たす者 ①平成 2 年以前に泉南地域（岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町）、大阪市及び河内長野市に居住していた者 ②大阪府が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 ③本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者	原則として、次の①～③を満たす者 ①昭和 30 年～50 年に尼崎市に居住していた者 ②尼崎市が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 ③本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者	原則として、次の①～③を満たす者 ①昭和 33 年～61 年に鳥栖市に居住していた者 ②鳥栖市が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 ③本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者	原則として、次の①～③を満たす者 ①平成元年以前に横浜市鶴見区に居住していた者 ②横浜市が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 ③本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者 また、平成 17 年度以降にエーアンドエーマテリアルが実施した健康診断を受診した者も対象としている。
調査方法	1 確認（府保健所において実施） ・問診 ・調査の同意 2 精密診断（指定医療機関及び府の財団法人が所有する検診車を利用し実施） ・胸部 X 線検査 ・胸部 CT 検査	1 1 次検査（尼崎市保健所において実施） ・問診 ・調査の同意 ・胸部 X 線検査 2 精密診断（指定医療機関において実施） ・胸部 CT 検査	1 確認（鳥栖市保健センターにおいて実施） ・問診 ・調査の同意 2 精密診断（指定医療機関において実施） ・胸部 X 線検査 ・胸部 CT 検査	1 確認（横浜市において実施） ・問診 ・調査の同意 2 精密診断（指定医療機関において実施） ・胸部 X 線検査 ・胸部 CT 検査
読影	指定医療機関及び財団法人大阪がん予防検診センターにおいて 1 次読影の後、大阪府アスベスト健康対策専門家会議において、所見を確認	指定医療機関において 1 次読影の後、尼崎市アスベスト対策専門委員会読影部会において、所見を確認。	指定医療機関で 1 次読影の後、鳥栖市石綿健康対策専門委員会において、所見を確認	指定医療機関で 1 次読影の後、横浜市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会において、所見を確認
	羽島市	奈良県	北九州市門司区	
調査対象者	原則として次の①～③を満たす者 ①平成元年以前に羽島市に居住していた者 ②羽島市が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 ③本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者 また、平成 17 年度以降にニチアス羽島工場が実施した健康診断を受診した者も対象としている。	原則として次の①～③を満たす者 ①平成元年以前に奈良県に居住していた者 ②奈良県が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 ③本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者 また、平成 17 年度以降にニチアス王寺工場及び竜田工業が実施した健康診断を受診した者も対象としている。	原則として次の①～③を満たす者 ①平成 16 年以前に北九州市門司区に居住していた者 ②北九州市が検査を実施する指定医療機関等で検査を受けることができる者 ③本調査の内容を理解し、調査の協力に同意する者	
調査方法	1 確認（羽島市保健センターにおいて実施） ・問診 ・調査の同意 2 精密診断（指定医療機関において実施） ・胸部 X 線検査 ・胸部 CT 検査	1 確認（県保健所及び奈良市保健所において実施） ・問診 ・調査の同意 2 精密診断（指定医療機関において実施） ・胸部 X 線検査 ・胸部 CT 検査	1 確認（門司区役所等において実施） ・問診 ・調査の同意 2 精密診断（指定医療機関において実施） ・胸部 X 線検査 ・胸部 CT 検査	
読影	指定医療機関で 1 次読影の後、羽島市石綿ばく露健康リスク調査専門委員会において、所見を確認	指定医療機関で 1 次読影の後、奈良県石綿ばく露健康リスク調査専門委員会において、所見を確認	指定医療機関で 1 次読影の後、北九州市石綿健康リスク調査専門会議において、所見を確認	

表 4－2 調査対象者の年齢

	7地域合計	
40歳未満	51	1.6%
40～49歳	253	8.1%
50～59歳	436	13.9%
60～69歳	1,020	32.5%
70～79歳	1,067	34.0%
80～89歳	299	9.5%
90～99歳	8	0.3%
計	3,134	100.0%

表 4－3 平成 26 年度石綿の健康リスク調査（ばく露歴と医学的所見（X線所見）の集計表 概略版）

地域	大阪府			尼崎市			鳥栖市			横浜市			羽島市			奈良県			北九州市			計		
ばく露分類	計	ばく露歴あり	その他ばく露	計	ばく露歴あり	その他ばく露	計	ばく露歴あり	その他ばく露	計	ばく露歴あり	その他ばく露	計	ばく露歴あり	その他ばく露	計	ばく露歴あり	その他ばく露	計	ばく露歴あり	その他ばく露	計	ばく露歴あり	その他ばく露
受診者数	478	310	168	638	277	361	289	189	100	238	104	134	703	260	443	594	287	307	181	144	37	3121	1571	1550
所見あり	63	48	15	72	42	30	19	14	5	29	18	11	136	73	63	80	48	32	14	14	0	413	257	156
	13%	15%	9%	11%	15%	8%	7%	7%	5%	12%	17%	8%	19%	28%	14%	13%	17%	10%	8%	10%	0%	13%	16%	10%
②胸膜プラーク	53	41	12	57	29	28	10	9	1	27	18	9	130	71	59	68	43	25	9	9	0	354	220	134
	11%	13%	7%	9%	10%	8%	3%	5%	1%	11%	17%	7%	18%	27%	13%	11%	15%	8%	5%	6%	0%	11%	14%	9%
⑤肺野の間質影	12	10	2	13	10	3	7	4	3	2	1	1	4	2	2	9	3	6	2	2	0	49	32	17
	3%	3%	1%	2%	4%	1%	2%	2%	3%	1%	1%	1%	1%	1%	0%	2%	1%	2%	1%	1%	0%	2%	2%	1%

○所見ありは、胸水貯留、胸膜プラーク、びまん性胸膜肥厚、胸膜腫瘍（中皮腫）疑い、肺野の間質影、円形無気肺、肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）、リンパ節の腫大の所見が見られる者（所見には疑い所見を含む。胸水貯留 4 件、胸膜プラーク 31 件、びまん性胸膜肥厚 2 件、肺野の間質影 7 件、肺野の腫瘤状陰影 2 件）。ただし、びまん性胸膜肥厚、肺野の間質影の所見については、石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合には除いている。

○「割合」は受診者数を分母として算出

○「ばく露歴あり」は、労働現場等と関連するばく露歴が確認できる者（直接職歴、間接職歴、家庭内ばく露、立入・屋内環境ばく露のいずれかの区分に該当する者）

○「その他ばく露」は、労働現場等と関連するばく露歴が確認できない者（直接職歴、間接職歴、家庭内ばく露、立入・屋内環境ばく露のいずれかの区分に該当しない者）

表 4－4 各地域の新規・継続受診者数及び胸膜プラーク（胸膜肥厚斑）ありの者のばく露歴の集計表

地域	調査対象者					X線受診者												
	継続受診者		新規受診者		胸膜プラーク			ア. 直接職歴		イ. 間接職歴		ウ. 家庭内ばく露		エ. 立入等		オ. その他		
大阪府	479	341	71.2%	138	28.8%	478	53	11.1%	26	49.1%	2	3.8%	7	13.2%	6	11.3%	12	22.6%
尼崎市	638	430	67.4%	208	32.6%	638	57	8.9%	13	22.8%	8	14.0%	5	8.8%	3	5.3%	28	49.1%
鳥栖市	293	259	88.4%	34	11.6%	289	10	3.5%	7	70.0%	0	0.0%	2	20.0%	0	0.0%	1	10.0%
横浜市	238	214	89.9%	24	10.1%	238	27	11.3%	11	40.7%	3	11.1%	3	11.1%	1	3.7%	9	33.3%
羽島市	709	703	99.2%	6	0.8%	703	130	18.5%	23	17.7%	10	7.7%	26	20.0%	12	9.2%	59	45.4%
奈良県	596	554	93.0%	42	7.0%	594	68	11.4%	13	19.1%	6	8.8%	17	25.0%	7	10.3%	25	36.8%
北九州市	181	133	73.5%	48	26.5%	181	9	5.0%	7	77.8%	0	0.0%	1	11.1%	1	11.1%	0	0.0%
計	3,134	2,634	84.0%	500	16.0%	3,121	354	11.3%	100	28.2%	29	8.2%	61	17.2%	30	8.5%	134	37.9%

表４－５① 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、×線所見、７地域合計）

	７地域合計																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計	677	581	96	254	178	76	382	102	280	258	164	94	1,571	1,025	546	1,550	634	916	3,121	1,659	1,462
（ばく露区分別の構成割合）	22%	35%	7%	8%	11%	5%	12%	6%	19%	8%	10%	6%	50%	62%	37%	50%	38%	63%	100%	100%	100%
所見あり	117	105	12	41	33	8	66	22	44	33	22	11	257	182	75	156	86	70	413	268	145
①胸水貯留	6	5	1	4	4	0	2	0	2	1	1	0	13	10	3	7	7	0	20	17	3
②胸膜ブランク	100	89	11	29	21	8	61	21	40	30	20	10	220	151	69	134	68	66	354	219	135
（受診者に対する割合）	15%	15%	11%	11%	12%	11%	16%	21%	14%	12%	12%	11%	14%	15%	13%	9%	11%	7%	11%	13%	9%
③びまん性胸膜肥厚	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	2	0	5	5	0	3	2	1	8	7	1
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑤肺野の間質影	18	16	2	7	7	0	3	1	2	4	4	0	32	28	4	17	15	2	49	43	6
（受診者に対する割合）	3%	3%	2%	3%	4%	0%	1%	1%	1%	2%	2%	0%	2%	3%	1%	1%	2%	0%	2%	3%	0%
⑥円形無気肺	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	4	4	0	2	2	0	0	0	0	1	0	1	7	6	1	6	4	2	13	10	3
⑧リンパ節の腫大	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

注：胸部×線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、「－」とした。

表４－５② 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、×線所見、大阪府）

	大阪府																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計	176	134	42	40	31	9	43	15	28	51	34	17	310	214	96	168	74	94	478	288	190
（ばく露区分別の構成割合）	37%	47%	22%	8%	11%	5%	9%	5%	15%	11%	12%	9%	65%	74%	51%	35%	26%	49%	100%	100%	100%
所見あり	31	27	4	4	4	0	7	4	3	6	4	2	48	39	9	15	10	5	63	49	14
①胸水貯留	3	2	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	5	4	1	1	1	0	6	5	1
②胸膜ブランク	26	22	4	2	2	0	7	4	3	6	4	2	41	32	9	12	7	5	53	39	14
（受診者に対する割合）	15%	16%	10%	5%	6%	0%	16%	27%	11%	12%	12%	12%	13%	15%	9%	7%	9%	5%	11%	14%	7%
③びまん性胸膜肥厚	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	0	3	3	0	1	1	0	4	4	0
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑤肺野の間質影	7	6	1	2	2	0	0	0	0	1	1	0	10	9	1	2	2	0	12	11	1
（受診者に対する割合）	4%	4%	2%	5%	6%	0%	0%	0%	0%	2%	3%	0%	3%	4%	1%	1%	3%	0%	3%	4%	1%
⑥円形無気肺	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0
⑧リンパ節の腫大	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

注：胸部×線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、「－」とした。

表４－５③ 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、×線所見、尼崎市）

	尼崎市																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 （ばく露区分別の構成割合）	139 22%	135 39%	4 1%	59 9%	51 15%	8 3%	48 8%	6 2%	42 14%	31 5%	18 5%	13 4%	277 43%	210 60%	67 23%	361 57%	138 40%	223 77%	638 100%	348 100%	290 100%
所見あり	16	16	0	15	14	1	7	0	7	4	3	1	42	33	9	30	15	15	72	48	24
①胸水貯留	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	3	3	0
②胸膜ブランク （受診者に対する割合）	13 9%	13 10%	0 0%	8 14%	7 14%	1 13%	5 10%	0 0%	5 12%	3 10%	2 11%	1 8%	29 10%	22 10%	7 10%	28 8%	13 9%	15 7%	57 9%	35 10%	22 8%
③びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑤肺野の間質影 （受診者に対する割合）	2 1%	2 1%	0 0%	5 8%	5 10%	0 0%	2 4%	0 0%	2 5%	1 3%	1 6%	0 0%	10 4%	8 4%	2 3%	3 1%	3 2%	0 0%	13 2%	11 3%	2 1%
⑥円形無気肺	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
⑧リンパ節の腫大	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

注：胸部×線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、「－」とした。

表４－５④ 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、×線所見、鳥栖市）

	鳥栖市																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 （ばく露区分別の構成割合）	78 27%	70 40%	8 7%	18 6%	8 5%	10 9%	50 17%	13 8%	37 32%	43 15%	30 17%	13 11%	189 65%	121 70%	68 59%	100 35%	52 30%	48 41%	289 100%	173 100%	116 100%
所見あり	10	10	0	0	0	0	3	0	3	1	1	0	14	11	3	5	4	1	19	15	4
①胸水貯留	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
②胸膜ブランク （受診者に対する割合）	7 9%	7 10%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 4%	0 0%	2 5%	0 0%	0 0%	0 0%	9 5%	7 6%	2 3%	1 1%	1 2%	0 0%	10 3%	8 5%	2 2%
③びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑤肺野の間質影 （受診者に対する割合）	3 4%	3 4%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 2%	1 3%	0 0%	4 2%	4 3%	0 0%	3 3%	2 4%	1 2%	7 2%	6 3%	1 1%
⑥円形無気肺	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	1	3	2	1
⑧リンパ節の腫大	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

注：胸部×線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、「－」とした。

表４－５⑤ 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、×線所見、横浜市）

	横浜市																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 （ばく露区分別の構成割合）	55 23%	51 39%	4 4%	20 8%	15 11%	5 5%	19 8%	6 5%	13 12%	10 4%	7 5%	3 3%	104 44%	79 60%	25 23%	134 56%	52 40%	82 77%	238 100%	131 100%	107 100%
所見あり	11	11	0	3	3	0	3	1	2	1	1	0	18	16	2	11	4	7	29	20	9
①胸水貯留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②胸膜ブランク （受診者に対する割合）	11 20%	11 22%	0 0%	3 15%	3 20%	0 0%	3 16%	1 17%	2 15%	1 10%	1 14%	0 0%	18 17%	16 20%	2 8%	9 7%	3 6%	6 7%	27 11%	19 15%	8 7%
③びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑤肺野の間質影 （受診者に対する割合）	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 10%	1 14%	0 0%	1 1%	1 1%	0 0%	1 1%	1 2%	0 0%	2 1%	2 2%	0 0%
⑥円形無気肺	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
⑧リンパ節の腫大	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

注：胸部×線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、「－」とした。

表４－５⑥ 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、×線所見、羽島市）

	羽島市																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 （ばく露区分別の構成割合）	60 9%	52 17%	8 2%	59 8%	35 12%	24 6%	95 14%	29 10%	66 16%	46 7%	22 7%	24 6%	260 37%	138 46%	122 30%	443 63%	163 54%	280 70%	703 100%	301 100%	402 100%
所見あり	24	21	3	10	6	4	27	9	18	12	6	6	73	42	31	63	29	34	136	71	65
①胸水貯留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	3	3	0
②胸膜ブランク （受診者に対する割合）	23 38%	20 38%	3 38%	10 17%	6 17%	4 17%	26 27%	8 28%	18 27%	12 26%	6 27%	6 25%	71 27%	40 29%	31 25%	59 13%	25 15%	34 12%	130 18%	65 22%	65 16%
③びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑤肺野の間質影 （受診者に対する割合）	1 2%	1 2%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 1%	1 3%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 1%	2 1%	0 0%	2 0%	2 1%	0 0%	4 1%	4 1%	0 0%
⑥円形無気肺	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧リンパ節の腫大	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

注：胸部×線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、「－」とした。

表４－５⑦ 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、×線所見、奈良県）

	奈良県																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 （ばく露区分別の構成割合）	104 18%	89 27%	15 6%	42 7%	31 9%	11 4%	89 15%	31 9%	58 22%	52 9%	37 11%	15 6%	287 48%	188 57%	99 38%	307 52%	144 43%	163 62%	594 100%	332 100%	262 100%
所見あり	16	14	2	8	5	3	17	8	9	7	6	1	48	33	15	32	24	8	80	57	23
①胸水貯留	1	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	2	2	0	5	5	0
②胸膜ブランク （受診者に対する割合）	13 13%	11 12%	2 13%	6 14%	3 10%	3 27%	17 19%	8 26%	9 16%	7 13%	6 16%	1 7%	43 15%	28 15%	15 15%	25 8%	19 13%	6 4%	68 11%	47 14%	21 8%
③びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	2	1	1	3	2	1
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑤肺野の間質影 （受診者に対する割合）	3 3%	3 3%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	3 1%	3 2%	0 0%	6 2%	5 3%	1 1%	9 2%	8 2%	1 0%
⑥円形無気肺	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	2	2	0	4	4	0
⑧リンパ節の腫大	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

注：胸部×線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、「－」とした。

表４－５⑧ 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、×線所見、北九州市）

	北九州市																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 （ばく露区分別の構成割合）	65 36%	50 58%	15 16%	16 9%	7 8%	9 9%	38 21%	2 2%	36 38%	25 14%	16 19%	9 9%	144 80%	75 87%	69 73%	37 20%	11 13%	26 27%	181 100%	86 100%	95 100%
所見あり	9	6	3	1	1	0	2	0	2	2	1	1	14	8	6	0	0	0	14	8	6
①胸水貯留	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	1	1	0	0	0	2	1	1
②胸膜ブランク （受診者に対する割合）	7 11%	5 10%	2 13%	0 0%	0 0%	0 0%	1 3%	0 0%	1 3%	1 4%	1 6%	0 0%	9 6%	6 8%	3 4%	0 0%	0 0%	0 0%	9 5%	6 7%	3 3%
③びまん性胸膜肥厚	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑤肺野の間質影 （受診者に対する割合）	2 3%	1 2%	1 7%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 1%	1 1%	1 1%	0 0%	0 0%	0 0%	2 1%	1 1%	1 1%
⑥円形無気肺	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	3	2	1	0	0	0	3	2	1
⑧リンパ節の腫大	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

注：胸部×線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、「－」とした。

表４－６① 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、ＣＴ所見、７地域合計）

	７地域合計																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計	656	562	94	247	172	75	375	100	275	253	160	93	1,531	994	537	1,472	609	863	3,003	1,603	1,400
（ばく露区分別の構成割合）	22%	35%	7%	8%	11%	5%	12%	6%	20%	8%	10%	7%	51%	62%	38%	49%	38%	62%	100%	100%	100%
所見あり	290	258	32	93	70	23	132	50	82	85	60	25	600	438	162	401	221	180	1,001	659	342
①胸水貯留	5	4	1	3	3	0	3	0	3	1	1	0	12	8	4	6	5	1	18	13	5
②胸膜ブランク	249	223	26	82	61	21	120	46	74	72	49	23	523	379	144	346	187	159	869	566	303
（受診者に対する割合）	38%	40%	28%	33%	35%	28%	32%	46%	27%	28%	31%	25%	34%	38%	27%	24%	31%	18%	29%	35%	22%
③びまん性胸膜肥厚	5	5	0	3	3	0	1	1	0	4	4	0	13	13	0	5	4	1	18	17	1
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	4	3	1	2	2	0	6	5	1
⑤肺野の間質影	46	41	5	15	13	2	13	6	7	17	15	2	91	75	16	57	38	19	148	113	35
（受診者に対する割合）	7%	7%	5%	6%	8%	3%	3%	6%	3%	7%	9%	2%	6%	8%	3%	4%	6%	2%	5%	7%	3%
⑥円形無気肺	7	7	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	9	8	1	5	5	0	14	13	1
⑦肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）	10	9	1	2	1	1	0	0	0	1	0	1	13	10	3	5	3	2	18	13	5
⑧リンパ節の腫大	14	11	3	4	2	2	2	1	1	7	7	0	27	21	6	10	7	3	37	28	9

表４－６② 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、ＣＴ所見、大阪府）

	大阪府																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計	176	134	42	40	31	9	43	15	28	51	34	17	310	214	96	168	74	94	478	288	190
（ばく露区分別の構成割合）	37%	47%	22%	8%	11%	5%	9%	5%	15%	11%	12%	9%	65%	74%	51%	35%	26%	49%	100%	100%	100%
所見あり	82	70	12	13	11	2	16	9	7	21	16	5	132	106	26	35	23	12	167	129	38
①胸水貯留	3	2	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	5	4	1	1	1	0	6	5	1
②胸膜ブランク	69	60	9	9	8	1	15	8	7	16	12	4	109	88	21	29	19	10	138	107	31
（受診者に対する割合）	39%	45%	21%	23%	26%	11%	35%	53%	25%	31%	35%	24%	35%	41%	22%	17%	26%	11%	29%	37%	16%
③びまん性胸膜肥厚	2	2	0	2	2	0	0	0	0	3	3	0	7	7	0	3	2	1	10	9	1
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤肺野の間質影	14	13	1	2	1	1	2	1	1	5	4	1	23	19	4	5	5	0	28	24	4
（受診者に対する割合）	8%	10%	2%	5%	3%	11%	5%	7%	4%	10%	12%	6%	7%	9%	4%	3%	7%	0%	6%	8%	2%
⑥円形無気肺	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	2	2	0	5	5	0
⑦肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）	5	4	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	7	5	2	1	1	0	8	6	2
⑧リンパ節の腫大	7	6	1	2	2	0	1	1	0	5	5	0	15	14	1	5	4	1	20	18	2

表４－６③ 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、ＣＴ所見、尼崎市）

	尼崎市																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 （ばく露区分別の構成割合）	116 22%	113 38%	3 1%	52 10%	45 15%	7 3%	41 8%	6 2%	35 15%	25 5%	14 5%	11 5%	234 44%	178 60%	56 24%	296 56%	117 40%	179 76%	530 100%	295 100%	235 100%
所見あり	53	51	2	23	21	2	13	3	10	10	6	4	99	81	18	104	49	55	203	130	73
①胸水貯留	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	1	3	2	1
②胸膜ブランク （受診者に対する割合）	44 38%	42 37%	2 67%	21 40%	19 42%	2 29%	10 24%	3 50%	7 20%	9 36%	5 36%	4 36%	84 36%	69 39%	15 27%	92 31%	43 37%	49 27%	176 33%	112 38%	64 27%
③びまん性胸膜肥厚	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤肺野の間質影 （受診者に対する割合）	10 9%	10 9%	0 0%	6 12%	6 13%	0 0%	3 7%	0 0%	3 9%	2 8%	2 14%	0 0%	21 9%	18 10%	3 5%	10 3%	6 5%	4 2%	31 6%	24 8%	7 3%
⑥円形無気肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧リンパ節の腫大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	1	3	2	1

表４－６④ 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、ＣＴ所見、鳥栖市）

	鳥栖市																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 （ばく露区分別の構成割合）	80 27%	72 41%	8 7%	18 6%	8 5%	10 9%	50 17%	13 7%	37 32%	44 15%	31 18%	13 11%	192 66%	124 70%	68 59%	101 34%	53 30%	48 41%	293 100%	177 100%	116 100%
所見あり	20	18	2	0	0	0	4	1	3	5	5	0	29	24	5	10	8	2	39	32	7
①胸水貯留	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
②胸膜ブランク （受診者に対する割合）	14 18%	12 17%	2 25%	0 0%	0 0%	0 0%	3 6%	0 0%	3 8%	1 2%	1 3%	0 0%	18 9%	13 10%	5 7%	1 1%	1 2%	0 0%	19 6%	14 8%	5 4%
③びまん性胸膜肥厚	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤肺野の間質影 （受診者に対する割合）	5 6%	5 7%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 2%	1 8%	0 0%	3 7%	3 10%	0 0%	9 5%	9 7%	0 0%	7 7%	6 11%	1 2%	16 5%	15 8%	1 1%
⑥円形無気肺	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	1	1	3	2	1
⑧リンパ節の腫大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0

表４－６⑦ 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、ＣＴ所見、奈良県）

	奈良県																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 （ばく露区分別の構成割合）	104 18%	89 27%	15 6%	42 7%	31 9%	11 4%	91 15%	31 9%	60 23%	51 9%	36 11%	15 6%	288 49%	187 57%	101 38%	305 51%	142 43%	163 62%	593 100%	329 100%	264 100%
所見あり	53	47	6	20	16	4	40	17	23	19	16	3	132	96	36	91	60	31	223	156	67
①胸水貯留	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	2	2	0
②胸膜ブランク （受診者に対する割合）	46 44%	40 45%	6 40%	18 43%	14 45%	4 36%	37 41%	15 48%	22 37%	17 33%	15 42%	2 13%	118 41%	84 45%	34 34%	74 24%	50 35%	24 15%	192 32%	134 41%	58 22%
③びまん性胸膜肥厚	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	0	2	2	0	4	4	0
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	3	3	0	0	0	0	3	3	0
⑤肺野の間質影 （受診者に対する割合）	10 10%	9 10%	1 7%	2 5%	2 6%	0 0%	3 3%	2 6%	1 2%	6 12%	5 14%	1 7%	21 7%	18 10%	3 3%	24 8%	16 11%	8 5%	45 8%	34 10%	11 4%
⑥円形無気肺	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0	3	3	0
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	1	1	0	4	4	0
⑧リンパ節の腫大	2	2	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	4	3	1	2	1	1	6	4	2

表４－６⑧ 石綿の健康リスク調査におけるばく露歴と医学的所見の集計表（詳細版、ＣＴ所見、北九州市）

	北九州市																				
	ア. 直接職歴			イ. 間接職歴			ウ. 家庭内ばく露			エ. 立入等			ア～エ小計			オ. その他			合計		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
受診者計 （ばく露区分別の構成割合）	65 36%	50 58%	15 16%	16 9%	7 8%	9 9%	38 21%	2 2%	36 38%	25 14%	16 19%	9 9%	144 80%	75 87%	69 73%	37 20%	11 13%	26 27%	181 100%	86 100%	95 100%
所見あり	25	19	6	4	3	1	4	0	4	3	3	0	36	25	11	3	2	1	39	27	12
①胸水貯留	1	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	3	1	2	0	0	0	3	1	2
②胸膜ブランク （受診者に対する割合）	21 32%	18 36%	3 20%	1 6%	1 14%	0 0%	1 3%	0 0%	1 3%	2 8%	2 13%	0 0%	25 17%	21 28%	4 6%	1 3%	0 0%	1 4%	26 14%	21 24%	5 5%
③びまん性胸膜肥厚	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
⑤肺野の間質影 （受診者に対する割合）	5 8%	2 4%	3 20%	3 19%	3 43%	0 0%	1 3%	0 0%	1 3%	0 0%	0 0%	0 0%	9 6%	5 7%	4 6%	1 3%	1 9%	0 0%	10 6%	6 7%	4 4%
⑥円形無気肺	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	2	2	0
⑦肺野の腫瘍状陰影（肺がん等）	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
⑧リンパ節の腫大	2	0	2	1	0	1	0	0	0	1	1	0	4	1	3	1	1	0	5	2	3

表４－８ 平成 22～25 年度受診者のうち、医療の必要があると判断された者の診断経過について

	合計						大阪府						尼崎市						鳥栖市					
	計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	ア	イ	ウ	エ	オ
石綿関連疾患(疑いを含む)	30 (3)	16 (2)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	10 (1)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
a 中皮腫	5 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)							3 (0)	1 (0)				2 (0)						
b 肺がん	20 (3)	9 (2)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	8 (1)							3 (0)					3 (0)	2 (1)	1 (0)				1 (1)
c 石綿肺	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)																
d 良性石綿胸水	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)																		
e びまん性胸膜肥厚	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)																		

※()は疑い(内数)

石綿救済制度又は労災制度 で認定された者	救済	10	中皮腫(ア1、オ1) 肺がん(ア1、イ1、ウ1、オ4) びまん性胸膜肥厚(ア1)	救済		中皮腫(オ1) 肺がん(オ1)	救済	0
	労災	6	中皮腫(ア1、イ1) 肺がん(ア2) 石綿肺(ア1) 良性石綿胸水(ア1)	労災	1	中皮腫(ア1)	労災	0
	合計	16	中皮腫(ア2、イ1、オ1) 肺がん(ア3、イ1、ウ1、オ4) 石綿肺(ア1) 良性石綿胸水(ア1) びまん性胸膜肥厚(ア1)	合計	1	中皮腫(ア1、オ1) 肺がん(オ1)	合計	0

平成18～21年度の状況 救済 4 (中皮腫1、肺がん3)

労災12 (中皮腫1、肺がん3、石綿肺6、びまん性胸膜肥厚2)

合計16

	横浜市						羽島市						奈良県						北九州市					
	計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	ア	イ	ウ	エ	オ	計	ア	イ	ウ	エ	オ
石綿関連疾患(疑いを含む)	6 (1)	5 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	10 (0)	4 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)	3 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
a 中皮腫													2 (0)	1 (0)	1 (0)									
b 肺がん	4 (1)	3 (1)				1 (0)	9 (0)	3 (0)	1 (0)	2 (0)		3 (0)							2 (1)	2 (1)				
c 石綿肺																								
d 良性石綿胸水							1 (0)	1 (0)					1 (0)	1 (0)										
e びまん性胸膜肥厚	2 (0)	2 (0)																						

※()は疑い(内数)

石綿救済制度又は労災制度で認定された者	救済	1	中皮腫(ア1、オ1) 肺がん(ア1、イ1、ウ1、オ4) びまん性胸膜肥厚(ア1)				救済	5	肺がん(イ1、ウ1、オ3)				救済	1	中皮腫(ア1)				救済	1	肺がん(ア1)			
	労災	0					労災	2	肺がん(ア2)				労災	2	中皮腫(イ1) 良性石綿胸水(ア1)				労災	0				
	合計	1	中皮腫(ア2、イ1、オ1) 肺がん(ア2、イ1、ウ1、オ3) びまん性胸膜肥厚(ア1)				合計	7	肺がん(ア2、イ1、ウ1、オ3)				合計	3	中皮腫(ア1、イ1) 良性石綿胸水(ア1)				合計	1	肺がん(ア1)			

表５－２ 平成 22 年度調査対象者の属性

地域	合計	第 1 期リスク調査 受診者		性別			
				男		女	
大阪府	437	382	87.4%	241	55.1%	196	44.9%
尼崎市	301	227	75.4%	156	51.8%	145	48.2%
鳥栖市	272	129	47.4%	175	64.3%	97	35.7%
横浜市	320	283	88.4%	173	54.1%	147	45.9%
羽島市	768	390	50.8%	324	42.2%	444	57.8%
奈良県	456	346	75.9%	254	55.7%	202	44.3%
北九州市	153	76	49.7%	81	52.9%	72	47.1%
計	2,707	1,833	67.7%	1,404	51.9%	1,303	48.1%

表５－３ 平成 23 年度新規受診者の属性

地域	合計	第 1 期リスク調査 受診者		性別			
				男		女	
大阪府	49	33	67.3%	24	49.0%	25	51.0%
尼崎市	434	76	17.5%	259	59.7%	175	40.3%
鳥栖市	130	22	16.9%	64	49.2%	66	50.8%
横浜市	39	8	20.5%	23	59.0%	16	41.0%
羽島市	44	3	6.8%	21	47.7%	23	52.3%
奈良県	63	35	55.6%	37	58.7%	26	41.3%
北九州市	80	6	7.5%	44	55.0%	36	45.0%
計	839	183	21.8%	472	56.3%	367	43.7%

表５－４ 平成 24 年度新規受診者の属性

地域	合計	第 1 期リスク調査 受診者		性別			
				男		女	
大阪府	20	1	5.0%	10	50.0%	10	50.0%
尼崎市	158	20	12.7%	88	55.7%	70	44.3%
鳥栖市	50	12	24.0%	36	72.0%	14	28.0%
横浜市	15	1	6.7%	6	40.0%	9	60.0%
羽島市	24	1	4.2%	9	37.5%	15	62.5%
奈良県	108	4	3.7%	55	50.9%	53	49.1%
北九州市	59	0	0.0%	34	57.6%	25	42.4%
計	434	39	9.0%	238	54.8%	196	45.2%

表５－５ 平成 25 年度新規受診者の属性

地域	合計	第 1 期リスク調査 受診者		性別			
				男		女	
大阪府	16	4	25.0%	9	56.3%	7	43.8%
尼崎市	161	6	3.7%	90	55.9%	71	44.1%
鳥栖市	62	16	25.8%	36	58.1%	26	41.9%
横浜市	15	2	13.3%	7	46.7%	8	53.3%
羽島市	28	1	3.6%	12	42.9%	16	57.1%
奈良県	166	7	4.2%	92	55.4%	74	44.6%
北九州市	51	3	5.9%	28	54.9%	23	45.1%
計	499	39	7.8%	274	54.9%	225	45.1%

表５－６ 平成 26 年度新規受診者の属性

地域	合計	第 1 期リスク調査 受診者		性別			
				男		女	
大阪府	137	6	4.4%	93	67.9%	44	32.1%
尼崎市	208	10	4.8%	117	56.3%	91	43.8%
鳥栖市	34	2	5.9%	16	47.1%	18	52.9%
横浜市	24	1	4.2%	12	50.0%	12	50.0%
羽島市	6	0	0.0%	1	16.7%	5	83.3%
奈良県	42	1	2.4%	25	59.5%	17	40.5%
北九州市	48	3	6.3%	21	43.8%	27	56.3%
計	499	23	4.6%	285	57.1%	214	42.9%

表５－８ ばく露歴と胸膜プラーク（×線所見）

地域	平成22年度調査対象者＋平成23・24・25・26年度新規受診者													
	胸膜ブランク													
			ア. 直接職歴		イ. 間接職歴		ウ. 家庭内ばく露		エ. 立入等		オ. その他			
大阪府	658	100	15%	59	59%	8	8%	7	7%	7	7%	19	19%	
尼崎市	1,262	99	8%	36	36%	14	14%	6	6%	5	5%	38	38%	
鳥栖市	547	28	5%	17	61%	3	11%	3	11%	1	4%	4	14%	
横浜市	413	45	11%	20	44%	8	18%	3	7%	2	4%	12	27%	
羽島市	856	155	18%	29	19%	12	8%	27	17%	15	10%	72	46%	
奈良県	832	84	10%	20	24%	5	6%	26	31%	6	7%	27	32%	
北九州市	390	32	8%	27	84%	1	3%	1	3%	2	6%	1	3%	
計	4,958	543	11%	208	38%	51	9%	73	13%	38	7%	173	32%	

表５－９ ばく露歴と胸膜プラーク（ＣＴ所見）

地域	平成22年度調査対象者＋平成23・24・25・26年度新規受診者												
	胸膜プラーク												
			ア. 直接職歴		イ. 間接職歴		ウ. 家庭内ばく露		エ. 立入等		オ. その他		
大阪府	642	182	28%	101	55%	11	6%	17	9%	16	9%	37	20%
尼崎市	939	242	26%	63	26%	35	14%	13	5%	13	5%	118	49%
鳥栖市	453	50	11%	30	60%	4	8%	4	8%	2	4%	10	20%
横浜市	413	96	23%	35	36%	13	14%	10	10%	5	5%	33	34%
羽島市	842	318	38%	55	17%	27	8%	51	16%	28	9%	157	49%
奈良県	809	230	28%	55	24%	19	8%	47	20%	19	8%	90	39%
北九州市	355	62	17%	50	81%	5	8%	1	2%	4	6%	2	3%
計	4,453	1,180	26%	389	33%	114	10%	143	12%	87	7%	447	38%

表５－１０① 医学的所見の詳細

	7地域合計										大阪府									
	平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者		平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者	
	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見
受診者計	2,693	2,448	837	687	433	399	496	453	499	466	437	423	49	46	20	20	15	16	137	137
所見あり①～⑨	931	1,643	243	421	131	278	162	311	161	329	178	262	26	31	12	19	6	12	53	111
石綿関連所見あり①～⑧	427	811	78	172	56	131	42	120	57	163	80	123	7	13	9	12	2	6	24	66
①胸水貯留	3	7	3	1	3	3	3	3	4	4	1	2	0	0	0	1	0	0	2	1
②胸膜ブランク (受診者に対する割合)	365 14%	723 30%	57 7%	130 19%	47 11%	109 27%	32 6%	94 21%	42 8%	124 27%	65 15%	107 25%	5 10%	11 24%	9 45%	12 60%	1 7%	4 25%	20 15%	48 35%
③びまん性胸膜肥厚	11	14	2	4	2	1	2	1	5	9	5	3	1	1	0	0	0	0	4	8
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	－	5	－	1	－	0	－	1	－	1	－	2	－	1	－	0	－	0	－	0
⑤肺野の間質影 (受診者に対する割合)	72 3%	132 5%	15 2%	39 6%	4 1%	23 6%	8 2%	31 7%	14 3%	38 8%	33 8%	28 7%	1 2%	3 7%	0 0%	0 0%	1 7%	2 13%	5 4%	15 11%
⑥円形無気肺	－	11	－	2	－	3	－	1	－	5	－	4	－	0	－	0	－	0	－	4
⑦肺野の腫瘍状陰影(肺がん等)	18	23	7	11	4	13	2	3	2	6	3	5	2	1	0	0	1	1	0	5
⑧リンパ節の腫大	－	13	－	10	－	3	－	3	－	19	－	3	－	3	－	0	－	0	－	18
⑨その他	571	1,213	183	312	80	206	133	260	114	258	121	197	23	25	7	14	5	9	32	85

	尼崎市										鳥栖市									
	平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者		平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者	
	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見
受診者計	301	222	434	301	158	124	161	117	208	175	272	192	130	117	50	50	61	60	34	34
所見あり①～⑨	95	160	130	208	46	98	58	89	71	132	64	85	19	44	8	21	13	24	1	15
石綿関連所見あり①～⑧	45	88	41	83	13	39	14	29	18	58	23	37	5	17	5	10	4	11	0	3
①胸水貯留	0	0	3	0	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0
②胸膜ブランク (受診者に対する割合)	36 12%	71 32%	28 6%	64 21%	10 6%	35 28%	12 7%	25 21%	13 6%	47 27%	18 7%	28 15%	4 3%	9 8%	4 8%	7 14%	2 3%	5 8%	0 0%	1 3%
③びまん性胸膜肥厚	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	－	1	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	1	－	0
⑤肺野の間質影 (受診者に対する割合)	3 1%	12 5%	9 2%	21 7%	0 0%	7 6%	1 1%	3 3%	5 2%	14 8%	7 3%	10 5%	1 1%	6 5%	0 0%	1 2%	1 2%	4 7%	0 0%	2 6%
⑥円形無気肺	－	0	－	1	－	1	－	0	－	0	－	0	－	0	－	1	－	0	－	0
⑦肺野の腫瘍状陰影(肺がん等)	6	5	3	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	2	0	0
⑧リンパ節の腫大	－	4	－	2	－	0	－	1	－	0	－	1	－	2	－	0	－	0	－	0
⑨その他	56	112	97	155	33	78	49	74	55	105	44	59	15	30	3	12	9	18	1	12

注：胸部X線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、「－」とした。

表５－１０② 医学的所見の詳細

	横浜市										羽島市									
	平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者		平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者	
	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見
受診者計	320	320	39	39	15	15	15	15	24	24	755	741	44	44	24	23	27	28	6	6
所見あり①～⑨	109	192	13	19	4	7	3	7	5	14	264	556	10	31	6	14	6	19	1	3
石綿関連所見あり①～⑧	45	99	2	8	2	4	2	2	2	3	145	287	7	13	5	11	3	7	1	3
①胸水貯留	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
②胸膜ブランク (受診者に対する割合)	40 13%	85 27%	1 3%	4 10%	2 13%	4 27%	1 7%	1 7%	1 4%	2 8%	140 19%	286 39%	6 14%	13 30%	5 21%	9 39%	3 11%	7 25%	1 17%	3 50%
③びまん性胸膜肥厚	3	3	1	1	0	0	1	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	1	－	0	－	0	－	0	－	0
⑤肺野の間質影 (受診者に対する割合)	3 1%	19 6%	0 0%	3 8%	0 0%	0 0%	1 7%	1 7%	1 4%	1 4%	4 1%	23 3%	1 2%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	1 4%	0 0%	0 0%
⑥円形無気肺	－	2	－	0	－	0	－	0	－	0	－	3	－	0	－	0	－	0	－	0
⑦肺野の腫瘍状陰影(肺がん等)	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	2	0	2	0	0	0	0
⑧リンパ節の腫大	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0
⑨その他	72	131	12	16	2	4	2	6	3	12	127	417	3	23	1	7	4	16	0	2

	奈良県										北九州市									
	平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者		平成22年度調査対象者		平成23年度新規受診者		平成24年度新規受診者		平成25年度新規受診者		平成26年度新規受診者	
	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見	X線所見	CT所見
受診者計	456	431	61	62	107	108	166	166	42	42	152	119	80	78	59	59	51	51	48	48
所見あり①～⑨	165	310	23	49	39	89	63	139	22	35	56	78	22	39	16	30	13	21	8	19
石綿関連所見あり①～⑧	61	141	7	20	13	38	13	58	7	19	28	36	9	18	9	17	4	7	5	11
①胸水貯留	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	1	0	1	1	1	0	0	2	3
②胸膜ブランク (受診者に対する割合)	53 12%	125 29%	5 8%	14 23%	10 9%	28 26%	10 6%	48 29%	6 14%	15 36%	13 9%	21 18%	8 10%	15 19%	7 12%	14 24%	3 6%	4 8%	1 2%	8 17%
③びまん性胸膜肥厚	1	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	－	1	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	0	－	1
⑤肺野の間質影 (受診者に対する割合)	7 2%	20 5%	2 3%	6 10%	3 3%	12 11%	3 2%	18 11%	1 2%	4 10%	15 10%	20 17%	1 1%	0 0%	1 2%	3 5%	1 2%	2 4%	2 4%	2 4%
⑥円形無気肺	－	1	－	0	－	0	－	1	－	0	－	1	－	1	－	1	－	0	－	1
⑦肺野の腫瘍状陰影(肺がん等)	4	3	0	0	2	7	0	0	0	0	4	4	1	1	2	2	0	0	2	1
⑧リンパ節の腫大	－	2	－	2	－	2	－	0	－	1	－	3	－	1	－	1	－	2	－	0
⑨その他	115	241	19	39	27	73	55	119	18	31	36	56	14	24	7	18	9	18	5	11

注：胸部X線検査では「④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い」「⑥円形無気肺」「⑧リンパ節の腫大」を評価できないため、「－」とした。